

当初設計

2026年度



福山市 御幸 町 地内

御幸排水機場排水設備更新工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	排水設備機器製作工 除塵機 1 基 吐出し弁 2 台 附帯設備 一式 機器据付工 一式	

特 記 仕 様 書

御幸排水機場排水設備更新工事

1. 適用範囲

本仕様書は、御幸排水機場排水設備更新工事の下記対象工事範囲に適用する。
工事の施工にあたっては、農林水産省農村振興局制定「施設機械工事共通仕様書（以下「共通仕様書（施）」という。）及び「広島県土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書（土）」という。）に基づいて実施する。

また、施工管理については、農林水産省農村振興局整備部設計課「施設機械工事等施工管理基準」に準拠するものとする。

同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特記仕様書によるものとする。

2. 工事概要

本工事は広島県福山市御幸町にある御幸排水機場内の除塵設備、ポンプ設備の更新等に係る施工を行うものである。

2-1. 工事場所

広島県福山市御幸町地内

2-2. 工事時期

契約日 ～ 2028年（令和10年） 3月31日

2-3. 対象工事範囲

(1) 除塵設備

種別	細別	数量	施工内容	摘要
除塵設備	除塵機	2基	製作・撤去・据付	
	水平コンベヤ	1基	製作・撤去・据付	
	コンテナ	1台	新設	
	吊上装置	1式	新設	
操作制御設備	除塵機操作盤	1面	製作・撤去・据付	
電気設備	配線配管	1式	撤去・敷設	
付属設備	点検架台	1式	製作・撤去・据付	

(2) ポンプ設備（御幸排水機場内）

種別	細別	数量	施工内容	摘要
ポンプ設備	吐出し弁	2台	製作・撤去・据付	電動バラフライ弁
	水位計	1台	製作・据付	電波式水位計（吐出水槽）

(3) 建築設備

種 別	細 別	数量	施工内容	摘要
建築設備	外壁塗装	1 式	塗装塗替	
	フェンス	1 式	製作・撤去・据付	ネットフェンス
	門扉	1 式	塗装塗替	
	給気ファン	1 台	製作・据付	
	天井照明設備	6 器	制作・撤去・据付	
	トイレ	1 式	製作・撤去・据付	簡易水洗

2-4.施工範囲

工事の施工範囲は、工事概要に示す設備の設計、製作、輸送、据付及び試運転調整までの一切とする。

3. 設計仕様

設計仕様は以下の通りである。

(1) 除塵設備－除塵機

型 式	背面降下前面搔揚式除塵機
設 置 数	2 基
水 路 幅	3.60 m
水 路 高	3.10 m
レ ー キ 数	2 個
レーキ速度	約 4m/min
スクリーン	有効目幅 100mm、バーピッチ 109mm、傾斜角度 75 度
駆 動 装 置	トルクリミッタ付サイクロ減速機
	2.2kW×4P×220V×60Hz
保 護 装 置	過負荷防止用減速機内蔵トルクリミッタ

(2) 除塵設備－水平コンベヤ

型 式	トラフ型水平ベルトコンベヤ
設 置 数	1 基
水 平 機 長	9.5 m
ベ ル ト 幅	0.60 m
駆 動 装 置	サイクロモータプーリ Wヘリカルゴムライニング
	1.5kW×4P×220V×60Hz
ゴムベルト	600W×3P×3.0t×1.5t (耐油性ゴム)
保 護 装 置	ワイヤ式非常停止装置

(3) 除塵設備－コンテナ

型 式	底開式 角形 SUS 製
容 量	1 m ³
台 車	手押し式 SUS 製 ストッパ付きキャスター付属
付 属 品	吊ワイヤ、水抜きバルブ、ホース
数 量	1 台

(4) 除塵設備－吊上装置

型 式	手動ギヤードトロリ付チェンブロック
定 格 荷 重	1.6 t
揚 程	約 2.2m
操作チェーン長さ	約 3m
使用 I ビーム	I200x100x7/10
架 台	材質 SS400
数 量	1 台

(5) ポンプ設備－水位計（吐出し水槽）

型 式	電波式水位計
台 数	1 組
測 定 範 囲	吐出し水槽水位による
表 示 器	付き
構 造	非防爆構造

(6) ポンプ設備－吐出し弁

型 式	電動バタフライ弁
台 数	2 台
口 径	φ 1200mm
常 用 圧 力	0.032MPa (ポンプ吐出圧)
流 体	雨水 (常温)
操 作 方 法	電動及び手動
電動機容量	2.2kW
据 付 姿 勢	横形
フランジ形式	7.5K
面 間 寸 法	820mm
電源 (動力・制御)	AC220V 60Hz
付 属 品	開度発信器 (セルシン式)

(7) 建築設備－フェンス

型 式	ネットフェンス(忍び返し付き)
高 さ	H=1500
基 礎	コンクリートブロック (ベースプレート)

(8) 建築設備－給気ファン

型 式	壁掛け給気扇
給 気 風 量	34200m ³ /min
出 力	2.2kW
台 数	2台

4. 主要部の材質

主要材料は、J I S 規格品、又は同等品以上とする。

構造計算の結果、決定する使用材料は、製鉄所のミルシート又は引張試験成績書を提出し、監督職員の承諾を受けるものとする。

(1) 除塵設備

本工事に使用する材料は、次に示すものまたは同等以上と認められるもので、準拠基準規格を満足するものとする。

① 除塵機

使用部位	部材材質	部材記号
スクリーン、通しボルト	ステンレス鋼	SUS304
ディスタンスピース	ステンレス鋼鋼管	SUS304TP
スクリーン受桁	一般構造用圧延鋼材	SS400
ガイド側板及びレーキガイド	一般構造用圧延鋼材	SS400
ガイドレール	ステンレス鋼	SUS304
レーキ爪及びレーキ桁	一般構造用圧延鋼材	SS400
エプロン	一般構造用圧延鋼材	SS400
駆動軸	機械構造用炭素鋼鋼材	S45C-N 相当
レーキ用チェーン	ステンレス鋼	SUS304
レーキ用スプロケット	ステンレス鋼鋳鋼品	SCS13 相当
点検架台	一般構造用圧延鋼材等	SS400 等

② 水平コンベヤ

使用部位	部材材質	部材記号
フレーム	一般構造用圧延鋼材	SS400
支柱	一般構造用圧延鋼材	SS400
リターンカバー	一般構造用圧延鋼材	SS400
スカート	ステンレス鋼	SUS304
スカートフレーム	一般構造用圧延鋼材	SS400
テールプーリ、スナッププーリ	圧力配管用炭素鋼鋼管	STPG370
軸	機械構造用炭素鋼鋼材	S35C-N 相当

③ コンテナ

使用部位	部材材質	部材記号
本体、吊上げ用ワイヤロープ	ステンレス鋼	SUS304
キャスター	ゴム又は樹脂	—

④ 吊上装置

使用部位	部材材質	部材記号
I ビーム、架台	一般構造用圧延鋼材	SS400

(2) ポンプ設備

本工事に使用する材料は、次に示すものまたは同等以上と認められるもので、準拠基準規格を満足するものとする。

① 吐出し弁

使用部位	名 称	材質記号
弁箱、弁体	ねずみ鋳鉄	FC200 以上
弁棒	ステンレス鋼	SUS304 相当
弁座	合成ゴム	—

② 水位計

使用部位	名 称	備考
電波式水位計	筐体 アルミダイカスト ステンレス部 SUS304	粉体塗装

5. 除塵機操作盤

(1) 除塵機操作盤 仕様

- 1) 形 式 屋外自立閉鎖形 (扉—前面)
- 2) 材 質 鋼板及び SS400
- 3) 用 途 除塵機 2 基及び水平コンベヤの運転制御
- 4) 盤面取付器具

交流電圧計 0～300V	1 個
交流電流計	3 個
運転時間タイマ	1 個
回数設定器	2 個
状態表示灯	1 式
押釦スイッチ	1 式
その他必要なもの	1 式

5) 盤内収納機器

配線用遮断器	1 式
漏電遮断器	1 式
避雷器	1 個
漏電リレー	1 個
零相変流器	1 個
可逆式電磁接触器	3 個
電磁接触器(進相コンデンサ用)	3 個
進相コンデンサ	3 個
3E リレー	3 個
カレントコンバータ	3 個
変流器	3 個
サーキットプロテクタ	1 式
盤内照明灯 (LED)	1 個
ドアスイッチ (盤内照明用)	1 個
スペースヒータ	1 個
サーモスタット	1 個
補助リレー	1 式
その他必要なもの	1 式

(2) 付属品

- 1) 保守工具 1 式
- 2) 補修塗料 1 式

(3) 予備品

- 1) LED ランプ 現用各種毎に 1 個
- 2) 補助リレー 現用各種毎に 1 個
- 3) タイマ 現用各種毎に 1 個
- 4) 予備品収納箱 1 個

6. 塗装

6-1. 一般事項

- (1) 外注品の塗装仕様・塗装色についてはメーカー標準仕様とする。ただし開閉装置、吐出し弁は下記塗装仕様とする。
なお、操作盤の塗装仕様はメラミン焼付塗装・外面 60 μ m 以上・内面 40 μ m 以上とし、塗装色は 5Y7/1 とする。
- (2) 塗装は各部の塗装仕様により施工するものとし、搬入据付等により塗膜の損傷が生じた場合は正規の塗装と同等以上の補修を行い仕上げるものとする。
- (3) ステンレス部材は塗装を行わないものとする。なお、ステンレス部材は、酸洗いを十分に行うものとする。

6-2. 施工方法

- (1) 塗装作業は、鋼材表面の素地調整を十分に行った後に実施し、一次プライマー及び各層の塗り重ねは塗装系に応じた塗装間隔を守り、各層毎に色分けを行い施工するものとする。

6-3. 塗装仕様

塗装仕様は次のとおりとする。

「機械工事塗装要領(案)・同解説」国土交通省総合政策局公共事業企画調整課
「機械設備工事一般仕様書」日本下水道事業団

①除塵設備: 除塵機(水中部・接水部)

塗装系	工 程	塗 装 名	標準膜厚
P-1	一次プライマー	有機ジンクリッチプライマー	15 μ m
	第一層目(下塗)	エポキシ樹脂塗料	100 μ m
	第二層目(中塗)	エポキシ樹脂塗料	40 μ m
	第三層目(上塗)	エポキシ樹脂塗料	40 μ m
	合 計		195 μ m

②除塵設備: 除塵機(水上部)、水平コンベヤ、点検架台、吊上装置架台

塗装系	工 程	塗 装 名	標準膜厚
Q-1	一次プライマー	有機ジンクリッチプライマー	15 μ m
	第一層目(下塗)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂下塗塗料	80 μ m
	第二層目(下塗)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂下塗塗料	80 μ m
	第三層目(中塗)	弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料用 中塗	40 μ m
	第四層目(上塗)	弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料上塗	30 μ m
	合 計		245 μ m

③ポンプ設備:吐出し弁外面(屋内大気部)

塗装系	工 程	塗 装 名	標準膜厚
R-1	一次プライマー	長ばく形エッチングプライマー (鉛・クロムフリー使用可)	15 μ m
	第一層目(下塗)	鉛・クロムフリーさび止めペイント	35 μ m
	第二層目(中塗)	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	30 μ m
	第三層目(上塗)	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	25 μ m
	合 計		105 μ m

④ポンプ設備:吐出し弁内面(水中部)

塗装系	施工場所	工 程	塗 装 名	標準膜厚
エポキシ 樹脂系	バルブ・ ゲート (水中部)	第1層 (下塗)	ジンクリッチペイント(有機)	25 μ m
		第2層 (下塗)	水道用液状エポキシ樹脂塗料	120 μ m
		第3層 (中塗)	水道用液状エポキシ樹脂塗料	120 μ m
		第4層 (上塗)	水道用液状エポキシ樹脂塗料	120 μ m
		合 計		385 μ m

7. 電気配線配管

(1) 本工事の電気配線及び配管は次の通りとする。

動力線	600V CV ケーブル
操作・制御線	CVV ケーブル
接地線	IV 線
露出部配管	厚鋼電線管 二種金属製可とう電線管

8. 輸送及び据付

8-1. 輸送

- ・製品の輸送は陸上輸送によるものとし、車両制限令(道路法)の輸送制限内にて輸送を行うものとする。
- ・製品は運搬中に変形・破損を生じないように、適切な養生・梱包を行うものとする。

8-2. 据付

(1) 共通事項

- ・機器設置前に墨出しを行い、所定の位置に機器が設置できるようにする。
- ・吊り込み中に芯ずれ・変形等を生じないように配慮する。

(2) 施工時

- ・請負者は現地施工前に必要箇所の測量、計測を行うものとする。尚、計測結果が設計図書と異なる場合は監督職員と協議を行うものとする。又、これによる設計変更が生じた場合は、その経費については別途協議するものとする。
- ・機器の搬出入時において交通整理が必要となった場合は、それに掛かる費用は別途協議するものとする。

9. 外壁塗装

塗装仕様は、次のとおりとする。

「御幸排水機場 塗装工事特記仕様書」

「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版

国土交通省大臣官房官庁営繕部 7章 塗装改修工事」

10. 提出図書等

提出図書

提出図書はA4版とし、発注者が指定する日までに作成し発注者に提出するものとする。

- ① 施工計画書
- ② 設計照査
- ③ 機器承諾書・材料承諾書
- ④ 施工図
- ⑤ 完成図書
- ⑥ 工事写真
- ⑨ 工事完成図書の電子媒体（CD-R若しくはDVD-R） 2部

なお、完成図書及び施工図の内容、編集等については発注者と打合せのうえ作成するものとする。また、提出書類に変更が生じた場合はその都度変更書類を提出するものとする。

官公庁等への手続き等

本工事に対し必要な官公庁等への申請書類は全て受注者が作成し、これに要する費用は受注者の負担とする。

11. 部分引渡し

- ・ 契約約款第 39 条により、本工事の内、監督員が指定する電動弁に関する部分（指定部分については、別途協議を行う。）について、2027 年（令和 9 年）3 月 31 日までに工事を完成させ、検査を受け部分引渡しを行うこと。

12. その他

12-1. 定めなき次項

- ・ 契約書、設計図面及び本仕様書に示されていない事項であっても構造、機能上又は製作据付上当然必要と認められる軽微な事項については受注者の負担で処理するものとする。
- ・ この仕様書に定めない事項又は、この工事の施工にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

12-2. 情報共有システム

- ・ 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- ・ 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>

御幸排水機場 塗装工事特記仕様書

1 工事場所 福山市御幸町
 2 建物概要 建物名称：御幸排水機場建屋 構造：RC 階数：1階 延べ面積：168㎡ 14m×12m 高さ7.4m

塗装工事	1 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)																
	○ 2 素地ごしらえ	種別 (18.2.2～7) (表18.2.1～7)																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地面等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木部</td> <td> 不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗りの場合 ※ B種 ・ A種 </td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td> 耐候性塗(り) (DP) の場合 ※ B種 ・ A種 ・ C種 耐候性塗(り) (DP) 以外の場合 ※ C種 ・ A種 ・ B種 </td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 注)</td> <td> ・ A種 ・ B種 </td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びせっこうプラスター面</td> <td> ※ B種 ・ A種 </td> </tr> <tr> <td>コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面</td> <td> 耐候性塗(り) (DP) の場合 ・ B種 ・ A種 耐候性塗(り) (DP) 以外の場合 ※ B種 ・ A種 </td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td> 目地：継目処理工法 ※ A種 ・ B種 目地：継目処理工法以外 ※ B種 ・ A種 </td> </tr> </tbody> </table>	種別	種別	下地面等		木部	不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗りの場合 ※ B種 ・ A種	鉄鋼面	耐候性塗(り) (DP) の場合 ※ B種 ・ A種 ・ C種 耐候性塗(り) (DP) 以外の場合 ※ C種 ・ A種 ・ B種	亜鉛めっき鋼面 注)	・ A種 ・ B種	モルタル面及びせっこうプラスター面	※ B種 ・ A種	コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面	耐候性塗(り) (DP) の場合 ・ B種 ・ A種 耐候性塗(り) (DP) 以外の場合 ※ B種 ・ A種	せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法 ※ A種 ・ B種 目地：継目処理工法以外 ※ B種 ・ A種
	種別	種別																
	下地面等																	
	木部	不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗りの場合 ※ B種 ・ A種																
	鉄鋼面	耐候性塗(り) (DP) の場合 ※ B種 ・ A種 ・ C種 耐候性塗(り) (DP) 以外の場合 ※ C種 ・ A種 ・ B種																
	亜鉛めっき鋼面 注)	・ A種 ・ B種																
	モルタル面及びせっこうプラスター面	※ B種 ・ A種																
	コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面	耐候性塗(り) (DP) の場合 ・ B種 ・ A種 耐候性塗(り) (DP) 以外の場合 ※ B種 ・ A種																
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法 ※ A種 ・ B種 目地：継目処理工法以外 ※ B種 ・ A種																	
	注) 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえの種別																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工部位及び塗料種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 種</td> <td> 鋼製の建具の場合又は2溶形ポリウレタンエナメル塗 若しくは常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗の場合 </td> </tr> <tr> <td>B 種</td> <td>A種、C種以外</td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工部位及び塗料種別	A 種	鋼製の建具の場合又は2溶形ポリウレタンエナメル塗 若しくは常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗の場合	B 種	A種、C種以外											
種別	施工部位及び塗料種別																	
A 種	鋼製の建具の場合又は2溶形ポリウレタンエナメル塗 若しくは常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗の場合																	
B 種	A種、C種以外																	

○ 3 錆止め塗料塗り

錆止め塗料の種別

(18.3.2) (表18.3.1)

下地面等		塗料の種別	備考
鉄鋼面	SOP	※ As種	
	DP	※ Es種	
	EP-G	※ Bz種 ・ Az種	
亜鉛めっき構面	SOP	鉄鋼建具等	※ Az種 ・ Bz種
	SOP	その他	※ Bz種 ・ Az種
	DP		※ Bz種
	EP-G		※ Cz種

工程の種別

(18.3.3) (表18.3.3～6)

下地面等		工程の種別	備考
鉄鋼面	SOP	見え掛り部分	※ A種 ・ B種
	EP-G	見え隠れ部分	※ B種 ・ A種
	DP		※ B種
亜鉛めっき構面	SOP	鉄鋼建具等	※ A種 ・ B種
	EP-G	その他	※ B種 ・ A種
	DP		※ 表18.3.6による

○ 4 塗装

(18.4.1～18.12.2)

塗装	種別	塗料の種類
・ 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※ A種 ・ B種 ※ 1種 ・ 2種
	木部屋内	※ B種 ・ A種 ※ 1種 ・ 2種
	鉄鋼面	※ B種 ・ A種 ※ 1種 ・ 2種
	亜鉛めっき鋼面	— ※ 1種 ・ 2種
・ クリヤラッカー塗り(CL)	※ B種 ・ A種	—
・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)	※ B種 ・ A種	—
・ 耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	— 上塗り等級()級
	亜鉛めっき鋼面	— 上塗り等級()級
	コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種 — ・ C種
	コンクリート面等	※ B種 ・ A種 —
・ つや有合成樹脂 エマルジョンペイント 塗り(EP-G)	屋内の鉄鋼面	※ B種 ・ A種 —
		—
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	※ B種 ・ A種	—
・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)	※ B種 ・ A種	—
・ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	※ B種 ・ A種	—
・ ラッカーエナメル塗り(LE)	※ B種 ・ A種	—
・ ピグメントステイン塗り	—	—
・ 木材保護塗料塗り(WP)	※ B種 ・ A種	—

仮設工事	1	仮囲い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 波形鉄板 ※ 万能板塀 ・ 単菅+シート張り ・ キャスターゲート ・ シートゲート ・ ()
	2	危険防止	<ul style="list-style-type: none"> ※ シート張り ・ 金アミ ・ ()
	○ 3	足場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事 (※ 内部足場 ※ 外部足場 ・ 基礎足場 ・ コンクリート打設足場) なお、本工事で設置した足場、栈橋、作業構台の類は、無償で別契約の関係受注者等に使用させること。 ・ 別途 (別契約の関係受注者が設置した足場、栈橋、作業構台の類は、無償で使用できる。) <p>足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。</p> <p>「手すり先行工法」の足場とは、全層に二段手すりかつま先板(幅木)のある足場をいう。 受注者は、工事着手前に足場の種類及び設置方法等について、監督員と協議すること。</p>
	○ 4	工事用水	<p>構内既存の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない
	○ 5	工事用電力	<p>構内既存の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない
	6	工事用進入路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設道路造成 ・ ()
	7	ベンチマーク	<p>設置方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ コンクリート杭 ・ 固定物 ・ ()
	○ 8	交通誘導警備員	<ul style="list-style-type: none"> ※ 置く (計 人) ※ 置かない ・ 置く期間 () 指定路線 ※ 該当無 ・ 該当有 <p>[県:第1編 1.2.13]</p>
	9	仮設備関係	<p>仮設備の設置条件</p> <p>使用期間及び借地条件 ※ 図面による ・ その他 () ・ 別途協議</p> <p>転用回数 () 回</p> <p>兼用 ・ 有り (図面による) ※ 無し</p> <p>仮設物の構造及び施工方法の指定</p> <p>構造及び設計条件 ※ 図面による ・ その他 () ・ 別途協議</p> <p>施工方法 ()</p> <p>その他 ()</p>

7章 塗装改修工事

1節 共通事項

7.1.1 一般事項

この章は、建築物の内外部のコンクリート、木部、金属、ボード、モルタル等の素地の塗装の塗替え及び新規の塗装を施す工事に適用する。また、1章[各章共通事項]と併せて適用する。

7.1.2 基本要品質

- (1) 塗装改修工事に用いる材料は、所定のものであること。
- (2) 塗装の仕上り面は、所要の状態であること。
- (3) 塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。

7.1.3 材料

- (1) この章で規定する塗料を屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量は、J I S等の材料規格において放散量が規定されている場合、特記による。特記がなければ、F☆☆☆☆とする。
- (2) 設計図書に特記された防火材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。
- (3) 上塗り用の塗料は、指定された色、つや等を上塗塗料の製造所において調合し、有効期間を経過したものは使用しない。ただし、少量の場合は、同一の上塗塗料の製造所の塗料を用いて現場調色とすることができる。
- (4) 塗装に使用する塗料の副資材は、上塗塗料の製造所が指定する製品とする。

7.1.4 施工一般

(1) 塗料の取扱い

塗料は、調合された塗料をそのまま使用する。ただし、素地面の粗密、吸収性の大小、気温の高低等に応じて、適切な粘度に調整することができる。

(2) こし分け

塗料は、使用直前によくかき混ぜ、必要に応じて、こし分けを行う。

(3) 研磨は、次による。

(ア) 研磨紙等は、JIS R 6251（研磨布）及びJIS R 6252（研磨紙）による。

(イ) 研磨紙ずりは、下層の塗膜及びパテが硬化乾燥した後、各層ごとに研磨紙等で素地の長手方向に、下層の塗膜を研ぎ去らないように注意して研ぐ。

(4) 穴埋め、パテかい及びパテしごきは、次による。

(ア) 穴埋めは、深い穴、大きな隙間等にパテをへら又はこてで塗り込み埋める。

(イ) パテかいは、塗装面の状況に応じて、塗装面のくぼみ、隙間、目違い等の部分に、パテをへら又はこてで薄く塗り付ける。

(ウ) パテしごきは、パテを全面にへら付けし、表面に過剰のパテを残さないよう、素地が現れるまで十分しごき取る。

(5) 塗り方は、(ア)から(ウ)までの工法のうち塗料に適したものとし、色境、隅角部、ちり回り等は、乱さないよう十分注意し、区画線を明確に塗り分ける。

なお、錆止め塗料塗りは、浸漬塗りとすることができる。

(ア) はけ塗りは、はけ目を正しく一様に塗る。

(イ) 吹付け塗りは、塗装用のスプレーガンを用いる。ガンの種類、口径、空気圧等は、用いる塗料の性状に応じて、適切なものを選び、吹きむらのないよう一様に塗る。

(ウ) ローラーブラシ塗りは、隅角部、ちり回り等を、小ばけ又は専用ローラーを用い、全面が均一になるように塗る。

(6) 塗付け量は、平らな面に実際に付着させる塗料の標準量（一工程当たり）とする。ただし、塗料の標準量は、薄める前のものとする。

(7) 塗装工程に種別のあるものは、特記された種別に応じて、各表中の○印の工程を行う。

(8) 各塗装工程の工程間隔時間及び最終養生時間は、材料の種類、気象条件等に応じて適切に定める。

なお、標準工程間隔時間を超えて、上に塗り重ねる場合は、適切な処理を行う。

(9) 中塗り及び上塗りの各層の色を変えること等により、中塗り及び上塗りが全面に均一に塗られていることを確認する。

(10) 組立、取付け等及び工事の取合い上、塗装困難となる部分は、あらかじめ仕上げ塗りまで行う。

(11) シーリング面に塗装仕上げを行う場合は、シーリング材が硬化した後に行うものとし、塗重ねの適合性を確認し、必要な措置を講ずる。

7.1.5 見本

仕上げの色合は、あらかじめ監督職員に提出した見本帳又は見本塗板による。

7.1.6 施工管理

(1) 気温が5℃以下、湿度が85%以上、結露等で塗料の乾燥に不適当な場合は、塗装を行わない。ただし、採暖、換気等を適切に行う場合は、この限りでない。

(2) 外部の塗装は、降雨のおそれのある場合又は強風時は、原則として、行わない。

(3) 塗装面、その周辺、床等に汚損を与えないように注意し、あらかじめ塗装箇所周辺に適切な養生を行う。

(4) 塗装を行う場所は、換気に注意して、溶剤による中毒を起こさないようにする。

(5) 火気に注意し、爆発、火災等の事故を起こさないようにする。また、塗料をふき取った布、塗料の付着した布片等で、自然発火を起こすおそれのあるものは、作業終了後、直ちに必要な措置を講ずる。

7.1.7 塗装面の確認等

塗装の仕上がり面の確認は、目視とし、表 7.1.1 による。ただし、錆止め塗料塗りの品質確

認は、次により、塗付け量又は標準膜厚の確認を行う。

- (ア) 工事現場塗装の場合は、使用量から単位面積当たりの塗付け量を推定する。
- (イ) 工場塗装の場合は、電磁膜厚計その他適切な測定器具により、膜厚の確認を行う。
- (ウ) 試験ロットの構成、1回の測定箇所数、合否の判定、不合格ロットの措置等は、1.2.2 [施工計画書] による品質計画で定める。

表 7.1.1 塗装面の確認

項目	状態
見本塗板等との比較	見本塗板等と色、つや及び仕上げの程度が同様であること。
仕上り面の状態	むら、しわ、へこみ、はじき、つぶ等がないこと。

7.1.8 有害物質を含む材料の処理

- (1) 改修部における石綿含有建材の除去は、9章1節 [石綿含有建材の除去工事] による。
- (2) 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は、監督職員と協議する。

2 節 下地調整

7.2.1 施工一般

塗替えて、表 7.2.1 から表 7.2.7 までの R B 種の場合の既存塗膜の除去範囲は、特記による。特記がなければ、劣化部分は除去し、活膜部分は残す。

7.2.3 鉄鋼面の下地調整

鉄鋼面の下地調整は表 7.2.2 により、種別は特記による。特記がなければ、R B 種とする。

表 7.2.2 鉄鋼面の下地調整

工 程	種 別			塗 料 そ の 他	面 の 処 理
	RA種	RB種	RC種		
1 既存塗膜の除去	○	—	—	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、塗膜、錆等を全面除去する。
	—	○	—	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化しぜい弱な部分、錆等を除去し、活膜は残す。
2 汚 れ、付着物除去	○	○	○	—	素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3 油 類 除 去	○	○	—	—	既存塗膜を除去した範囲を溶剤ぶき。
4 研磨紙ざり	○	○	—	研磨紙 P120～220	全面を平らに研磨し、研磨かす等を除去する。
	—	—	○	研磨紙 P240～320	

※御幸排水機場北口門扉は RA 種とする。

7.2.6 コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の下地調整

(1) コンクリート面及びALCパネル面の下地調整は表 7.2.5 により、種別は特記による。特記がなければ、RB種とする。ただし、8節〔耐候性塗料塗り（DP）〕の場合は、(2)による。

(2) 押出成形セメント板面及び8節〔耐候性塗料塗り（DP）〕におけるコンクリート面の下地調整は、表 7.2.6 による。ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

表 7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整

工 程	種 別			塗 料 そ の 他			面 の 処 理	
	RA種	RB種	RC種	規格番号	規格名称	種類		
1	既存塗膜の除去	○	—	—	—		ディスクサンダー、スクレーパー等により、全面除去する。	
		—	○	—	—		ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し弱い部分を除去し、活膜は残す。	
2	汚れ、付着物除去	○	○	○	—		素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により、除去する。	
3	ひび割れ部の補修	○	○	—	—		4章〔外壁改修工事〕によるひび割れ部の補修は、 特記 による。	
4	下地調整塗り ^{(注)1}	○	—	—	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1、C-2 又は CM-2	全面に塗り付けて平滑にする。
		—	○	—	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1、C-2 又は CM-2	既存の塗膜の除去部分の不陸を調整する。
		—	—	—	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
5	吸込止め	○	○	—	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー	—	既存塗膜を除去した範囲に塗り付ける。
6	パテしごき	○	—	—	JASS 18 M-202	反応形合成樹脂パテ	2液形エポキシ樹脂パテ	全面をしごき取り平滑にする。
7	研磨紙ざり	○	—	—	研磨紙 P120～220		乾燥後、全面を平らに研磨する。	
		—	—	○	研磨紙 P240～320			

(注) 1. 押出成形セメント板面の場合は、工程 4 を省略する。

2. 8節〔耐候性塗料塗り（DP）〕におけるコンクリート面の場合、工程 4 の建築用下地調整塗材の C-1、C-2 又は CM-2 の使い分けは、4.5.5〔既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル塗り仕上外壁等の下地調整〕(7)による。

3. 工程 5 のシーラー及び工程 6 のパテは、上に塗り重ねる塗料の製造所の指定するものとする。

4. JASS 18 M-201 及び M-202 は、日本建築学会材料規格である。

5. 屋内で現場塗装する場合、工程 5 の吸込止め及び工程 6 のパテしごきに使用する材料は、上に塗り重ねる塗料の製造所の指定する水系塗料とする。

4節 錆止め塗料塗り

7.4.1 一般事項

この節は、鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面の塗替え並びに新規の錆止め塗料塗りに適用する。

7.4.2 塗料種別

(1) 鉄鋼面の錆止め塗料の種別は、表 7.4.1 とし、次による。

(イ) 8節の場合は、次による。

(b) 塗替えの場合は、次による。

① 下地調整を表 7.2.2 によるRA種とする場合は、1回目の錆止め塗料塗りはCs種、2・3回目の錆止め塗料塗りはDs種とする。

② 下地調整を表 7.2.2 によるRB種又はRC種とする場合は、Es種とする。

表 7.4.1 鉄鋼面の錆止め塗料の種別

種別	錆 止 め 塗 料 そ の 他			塗付け量 (kg/m ²)	標準膜厚 (μm)	適用
	規格番号	規格名称	種類			
As種	JIS K 5674	鉛・クロムフリーさび止めペイント	1種	0.10	30	屋外、 屋内
Bs種	次のいずれかによる。			—	—	屋内
	JASS 18 M-111	水系さび止めペイント	—	0.11	30	
	JIS K 5674	鉛・クロムフリーさび止めペイント	2種	0.11	30	
Cs種	JIS K 5552	ジンクリッチプライマー	2種	0.14	15	—
Ds種	JIS K 5551	構造物用さび止めペイント	A種	0.14	30	—
Es種	JASS 18 M-109	変性エポキシ樹脂プライマー（変性エポキシ樹脂プライマーおよび弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー）	—	0.14	40	—

(注) 1. JIS K 5674に基づき、1種は溶剤系、2種は水系である。

2. JASS 18 M-111は、日本建築学会材料規格である。

7.4.3 錆止め塗料塗り

(1) 鉄鋼面の錆止め塗料塗りは、次による。

(イ) 8節の場合は、表 7.4.4 により、種別は特記による。特記がなければ、新規に塗る場合はA種とする。

表 7.4.4 耐候性塗料塗りの場合の鉄鋼面の錆止め塗料塗り

工 程		種 別			塗 り 工 法 そ の 他
		A種	B種	C種	
下 地 調 整		○	—	—	表 7.2.2 による RA 種
		—	○	—	表 7.2.2 による RB 種
		—	—	○	表 7.2.2 による RC 種
1	錆止め塗料塗り (下塗り 1 回目)	○	○	○	全面に塗り付ける。
2	錆止め塗料塗り (下塗り 2 回目)	○	○	—	全面に塗り付ける。
3	錆止め塗料塗り (下塗り 3 回目)	○	—	—	全面に塗り付ける。

- (注) 1. 塗料種別及び塗付け量は、7.4.2(1)による。
 2. 新規に塗装を行う場合は、下地調整に代えて、素地ごしらを 7.3.3 により行う。

8 節 耐候性塗料塗り (DP)

7.8.1 一般事項

この節は、屋外の鉄鋼面、亜鉛めっき鋼面、コンクリート面及び押出成形セメント板面の耐候性塗料の塗替え及び新規に塗る場合に適用する。

7.8.2 鉄鋼面の耐候性塗料塗り

鉄鋼面の耐候性塗料塗りは、表 7.8.1 による。ただし、上塗り塗料の等級は、特記による。なお、鉄骨等の製作工場で溶接した箇所錆止め塗料塗りは、7.4.3(2)(イ)による。

表 7.8.1 鉄鋼面の耐候性塗料塗り

工 程		塗 料 そ の 他			塗 付 け 量 (kg/m ²)
		規格番号	規格名称	種 類	
錆止め塗料塗り		7.4.3(1)による。			—
1	研磨紙ざり	研磨紙 P120~220			—
2	中 塗 り	JIS K 5659	鋼構造物用 耐候性塗料	A種 中塗り塗料	0.14
3	上 塗 り	JIS K 5659	鋼構造物用 耐候性塗料	A種 上塗り塗料	0.10

- (注) 1. 錆止め塗料塗りの種別は、塗料その他の欄による。
 2. 新規に塗装を行う場合で、工程 3 まで鉄骨等の製作工場で行う場合は、工程 1 の研磨紙ざりは省略する。

7.8.4 コンクリート面及び押出成形セメント板面の耐候性塗料塗り

コンクリート面及び押出成形セメント板面の耐候性塗料塗りは表 7.8.3 により、種別は特記による。

表 7.8.3 コンクリート面及び押出成形セメント板面の耐候性塗料塗り

工 程	種 別						塗 料 そ の 他			塗付け量 (kg/m ²)	
	A-1種	A-2種	B-1種	B-2種	C-1種	C-2種	規格番号	規 格 名 称	等 級		
下地調整	○	—	○	—	○	—	表 7.2.6 によるRB種			—	
	—	○	—	○	—	○	表 7.2.6 によるRC種				
1	下塗り	○	—	○	—	○	—	JASS 18 M-201	反応形成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形成樹脂シーラー	—	0.08
2	中塗り	○	○	—	—	—	—	JASS 18 M-405	常温乾燥形ふっ素樹脂塗料用中塗り(常温乾燥形ふっ素樹脂塗料用中塗りおよび弱溶剤系常温乾燥形ふっ素樹脂塗料用中塗り)	—	0.14
		—	—	○	○	—	—	JASS 18 M-404	アクリルシリコン樹脂塗料用中塗り(アクリルシリコン樹脂塗料用中塗りおよび弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料用中塗り)	—	0.14
		—	—	—	—	○	○	JASS 18 M-403	2液形ボリウレタンエナメル用中塗り(2液形ボリウレタンエナメル用中塗りおよび弱溶剤系2液形ボリウレタンエナメル用中塗り)	—	0.14
3	上塗り	○	○	—	—	—	—	JIS K 5658	建築用耐候性上塗り塗料	1級(主要原料 ふっ素樹脂)	0.10
		—	—	○	○	—	—			2級(主要原料 シリコン樹脂)	
		—	—	—	—	○	○			3級(主要原料 ポリウレタン樹脂)	

- (注) 1. 新規に塗装を行う場合は、A-1種、B-1種又はC-1種とし、下地調整に代えて、素地ごしらを表 7.3.6 によるA種により行う。ただし、押出成形セメント板は、B種の素地ごしらえを行う。
 2. JASS 18 M-201、M-403、M-404 及び M-405 は、日本建築学会材料規格である。

総括情報表

ファイル名	御幸排水機場排水設備更新工事	
変更回数	0	
適用単価地区	70 福山市	
単価適用日	00-08.03.01(0)	
諸経費体系	3 施設	
	当世代	前世代
工種	05 除塵設備	
週休補正区分	00 補正なし	
工事費端数区分	01 千円未満切捨	
施工地域・工事場所区分	03 市街地(DID補正)	
設計技術費区分	01 率分額計上あり	
復興補正区分	00 補正なし	
契約保証費区分	01 0.04%	
前払支出割合区分	00 補正なし	

工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事費						
製作工事						レベル1
材料費	1		式			レベル2
除塵機材料費	1		式			00
コンベア材料費	2		台			単第 0 -0001号表 00
点検架台	1		式			単第 0 -0005号表 00
吊上装置架台	1		式			単第 0 -0007号表 00
機器単体費	1		式			単第 0 -0010号表 レベル2
機器単体費	1		式			
	1		式			

工事費

内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
減速機 トルクリミット付サイクロ減速機 2.2kW×4P×220V×60Hz	1			台						
レーキチェーン SUS304 12.8m	2			本						
スプロケット SCS13	2			組						
テークアップユニット (除塵機)	1			組						
自動調芯ころ軸受	2			組						
サイクロモーターブリー Wヘリカルゴムライニング 1.5kW×4P×220V×60Hz	1			個						
キャリヤローラ	11			個						
自動調芯キャリヤローラ	1			個						
リターンローラ	3			個						

工事費

内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
リターンローラ (キーププレート付)	1			個						
自動調芯リターンローラ	1			個						
ゴムベルト 250N/mm以上 耐油性	20.2			m						
スカートゴム PL 6t	25.7			kg						
ヘッドスクレーバ	1			個						
テークアップユニット (コンベア)	2			個						
電動弁 横形電動式バタフライ弁 (短面間) φ1200 mm	2			台						
除塵機操作盤 屋外自立閉鎖型 (扉一前面) 鋼板及びSS400	1			面						
水位計 電波式水位計	1			台						

工事費

内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
給気ファン 壁掛け給気扇 34200m3/min×2.2kW	1			台						
チェーンブロック 手動ギヤードトロリ付チェーンブロック SS400 1.6t×2.2m×3m	1			式						
し渣コンテナ 底開式 角形SUS製 1m3	1			台						
門扉修繕 鋼製引き戸 2.2kW×4P×220V×60Hz	1			式						
労務費	1			式						レベル2
除塵機製作労務費 3.6m×3.1m 2台	1			式						00
コンベア製作労務費 9.5m×0.6m 1台	1			式						単第 0 -0013号表 00
点検架台製作労務費	1			式						単第 0 -0014号表 00
吊上装置架台製作労務費	1			式						単第 0 -0015号表 00
	1			式						単第 0 -0016号表

工事費

内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
塗装費	1			式						レベル2
除塵機工場塗装費 水中部・接水部	1			式						00
除塵機水上部・コンベア・架台工場塗装費 水中部・接水部	1			式						単第 0 -0017号表 00
間接労務費	1			式						単第 0 -0018号表 レベル2
間接労務費	1			式						00
工場管理費	1			式						単第 0 -0019号表 レベル2
工場管理費	1			式						00
据付工事	1			式						単第 0 -0022号表 レベル1
輸送費	1			式						レベル2

工事費

内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
除塵設備輸送費									00	
	1			式					単第 0 -0023号表	
ポンプ設備輸送費									00	
	1			式					単第 0 -0024号表	
鋼製付属設備輸送費									00	
	1			式					単第 0 -0025号表	
材料費									レベル 2	
	1			式						
除塵機据付材料費									00	
	1			式					単第 0 -0026号表	
コンベア据付材料費									00	
	1			式					単第 0 -0028号表	
ポンプ設備据付材料費									00	
	1			式					単第 0 -0030号表	
点検架台据付材料費									00	
	1			式					単第 0 -0032号表	
吊上装置架台据付材料費									00	
	1			式					単第 0 -0034号表	

工事費

内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
除塵機電気通信設備材料費									00	
	1			式					単第 0 -0036号表	
御幸排水機場電気通信設備材料費									00	
	1			式					単第 0 -0037号表	
労務費									レベル 2	
	1			式						
据付労務費									レベル 3	
	1			式						
除塵機据付労務費									00	
	1			式					単第 0 -0027号表	
コンベア据付労務費									00	
	1			式					単第 0 -0029号表	
ポンプ設備据付労務費									00	
	1			式					単第 0 -0031号表	
点検架台据付労務費									00	
	1			式					単第 0 -0033号表	
吊上装置架台据付労務費									00	
	1			式					単第 0 -0035号表	

工事費

内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
除塵機電気通信設備据付労務費									00	
	1			式					単第 0 -0038号表	
御幸排水機場電気通信設備据付労務費									00	
	1			式					単第 0 -0039号表	
吐出井水位計設備据付労務費									00	
	1			式					単第 0 -0040号表	
撤去労務費									レベル 3	
	1			式						
除塵機撤去労務費									00	
	1			式					単第 0 -0041号表	
コンベア撤去労務費									00	
	1			式					単第 0 -0042号表	
ポンプ設備撤去労務費									00	
	1			式					単第 0 -0043号表	
除塵機電気通信設備撤去労務費									00	
	1			式					単第 0 -0044号表	
御幸排水機場電気通信設備撤去労務費									00	
	1			式					単第 0 -0045号表	

工事費

内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
複合工費									レベル 2	
	1			式						
トイレリフォーム									レベル 3	
	1			式						
直接仮設 トイレリフォーム									00	
	1			式					単第 0 -0046号表	
便所改修 トイレリフォーム									00	
	1			式					単第 0 -0047号表	
発生材処理 トイレリフォーム									00	
	1			式					単第 0 -0048号表	
給気ファン設置									レベル 3	
	1			式						
給気ファン設置									00	
	1			式					単第 0 -0049号表	
外壁塗装									レベル 3	
	1			式						
直接仮設 外壁改修									00	
	1			式					単第 0 -0053号表	

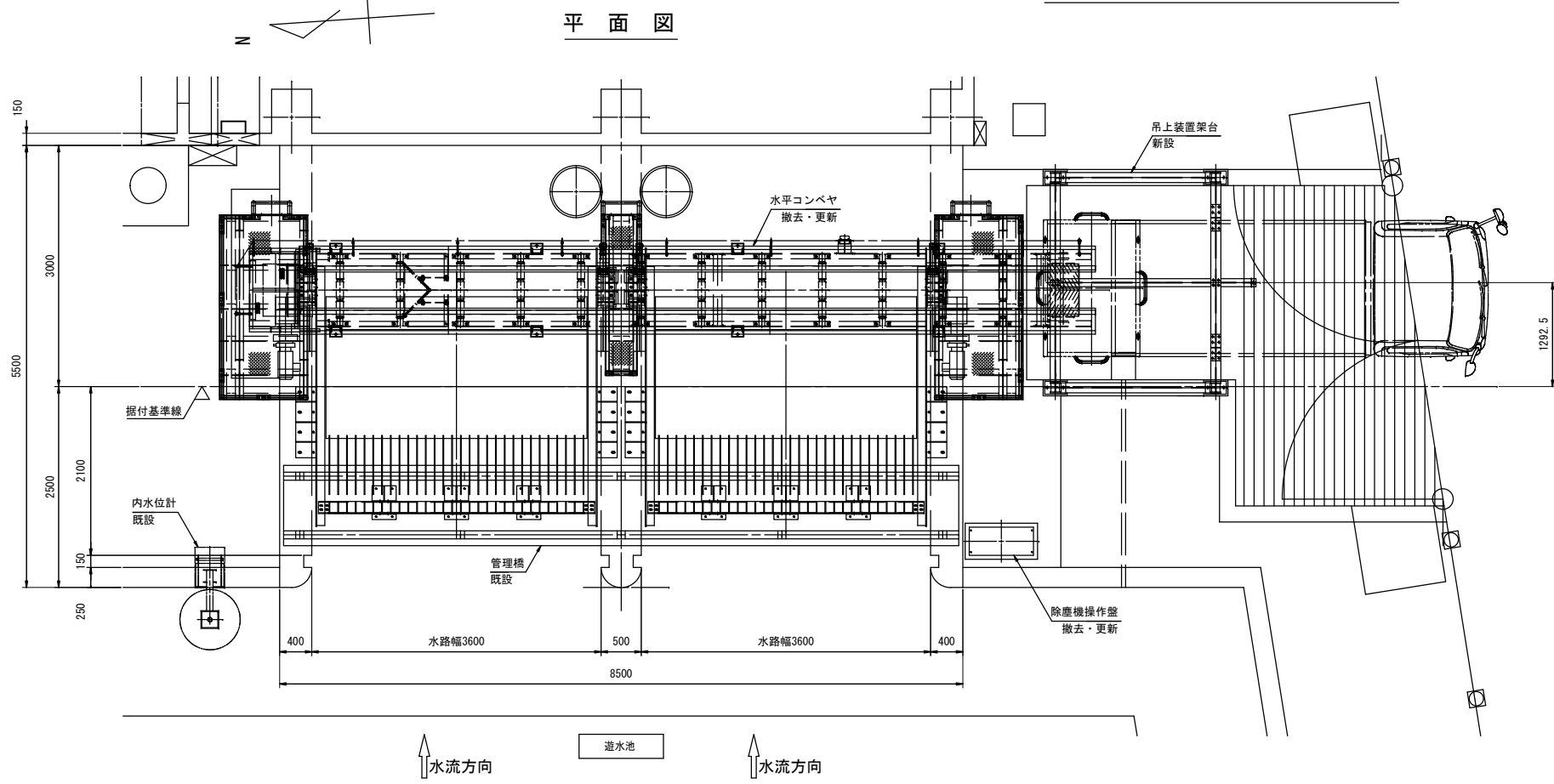


工事場所
御幸排水機場

位置図

工事名称	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	位置図		
縮尺	NON	図面番号	1/22

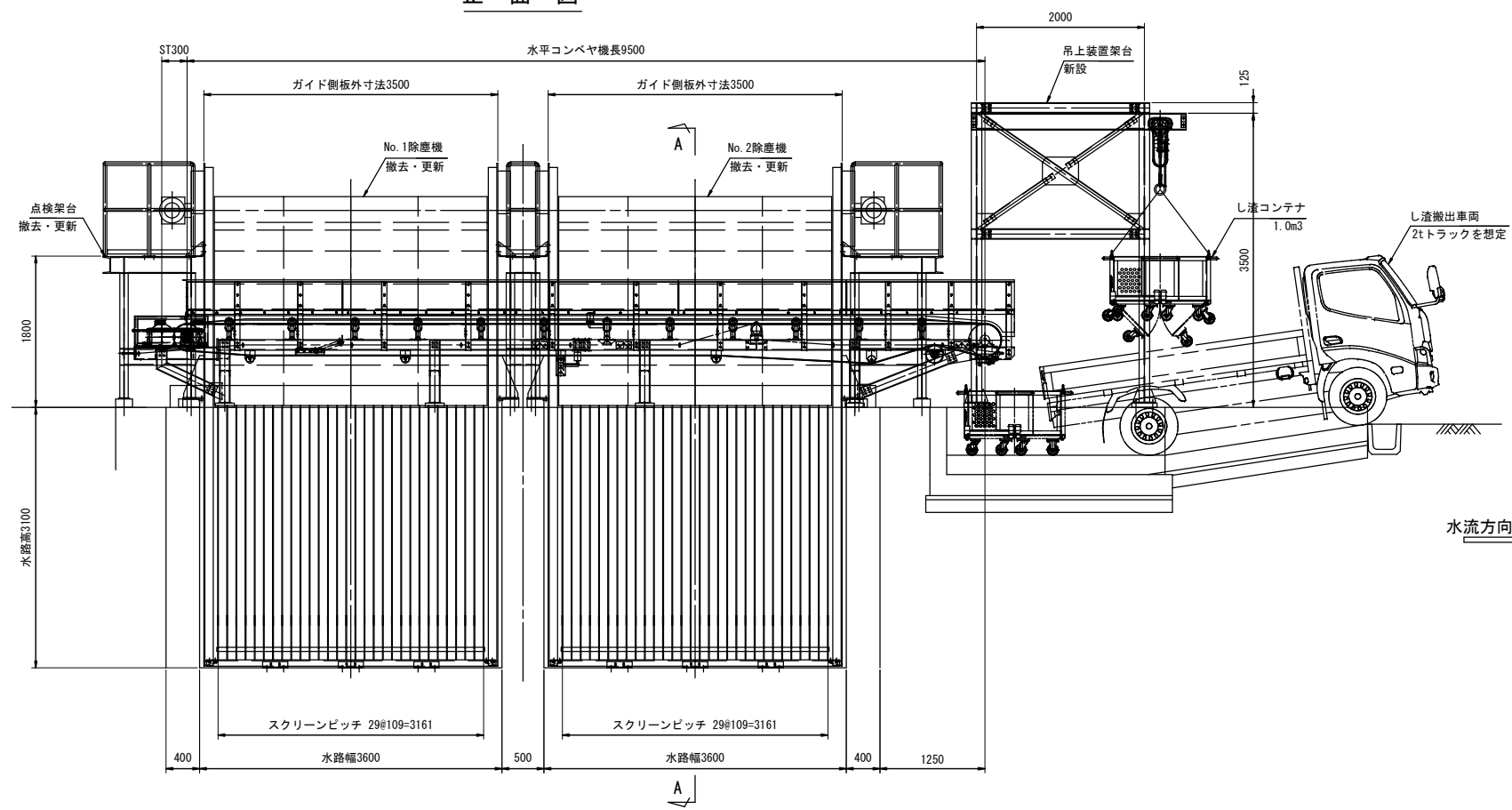
除塵設備一般図 S=1:80



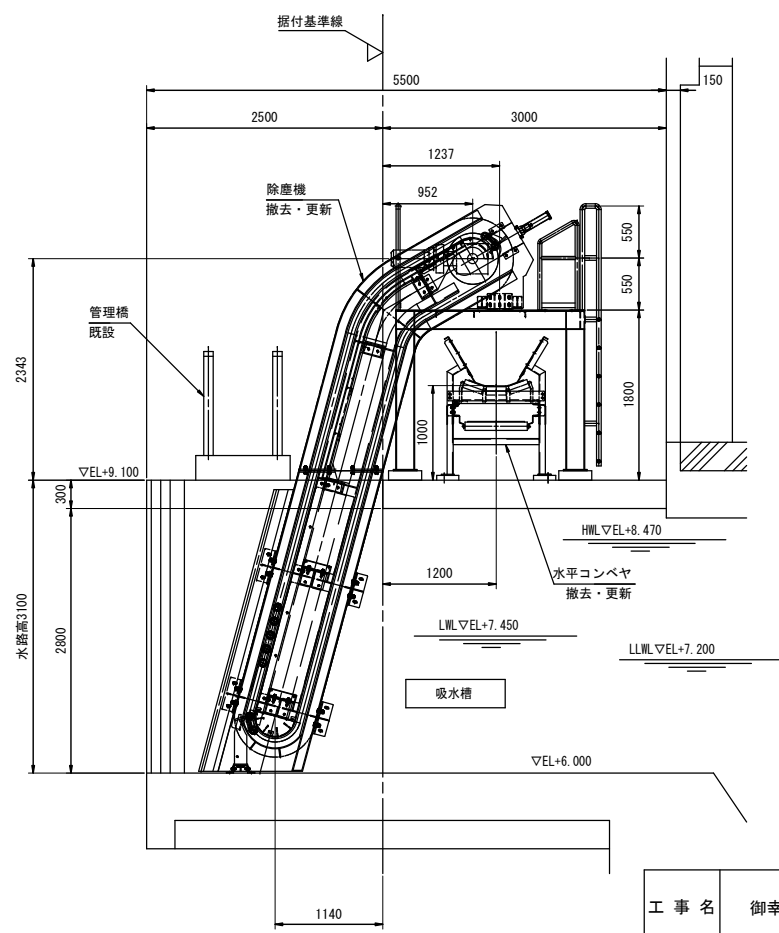
自動除塵機仕様	
形式	背面降下前面掻揚式除塵機
水路幅 x 水路高	水路幅3.600m水路高3.100m
レーキ数	2個
レーキ速度	約4 m/min
スクリーン	有効目幅 100mm バーピッチ 109mm 傾斜角度 75度
除塵機本体	トルクリミッタ付サイクロ減速機 (1/683)
駆動装置	2.2kWx4Px220Vx60Hz
保護装置	過負荷防止用減速機内蔵トルクリミッタ
数量	2基

水平コンベヤ仕様	
形式	トラフ型水平ベルトコンベヤ
水平機長	9.500m
ベルト幅	0.600m
ベルト速度	24m/min
駆動装置	サイクロモータープーリ (Wヘリカルゴムライニング) 1.5kWx4Px220Vx60Hz
ゴムベルト	600Wx3Px3.0tx1.5t (耐油性ゴム)
保護装置	ワイヤ式非常停止装置
数量	1基

正面図

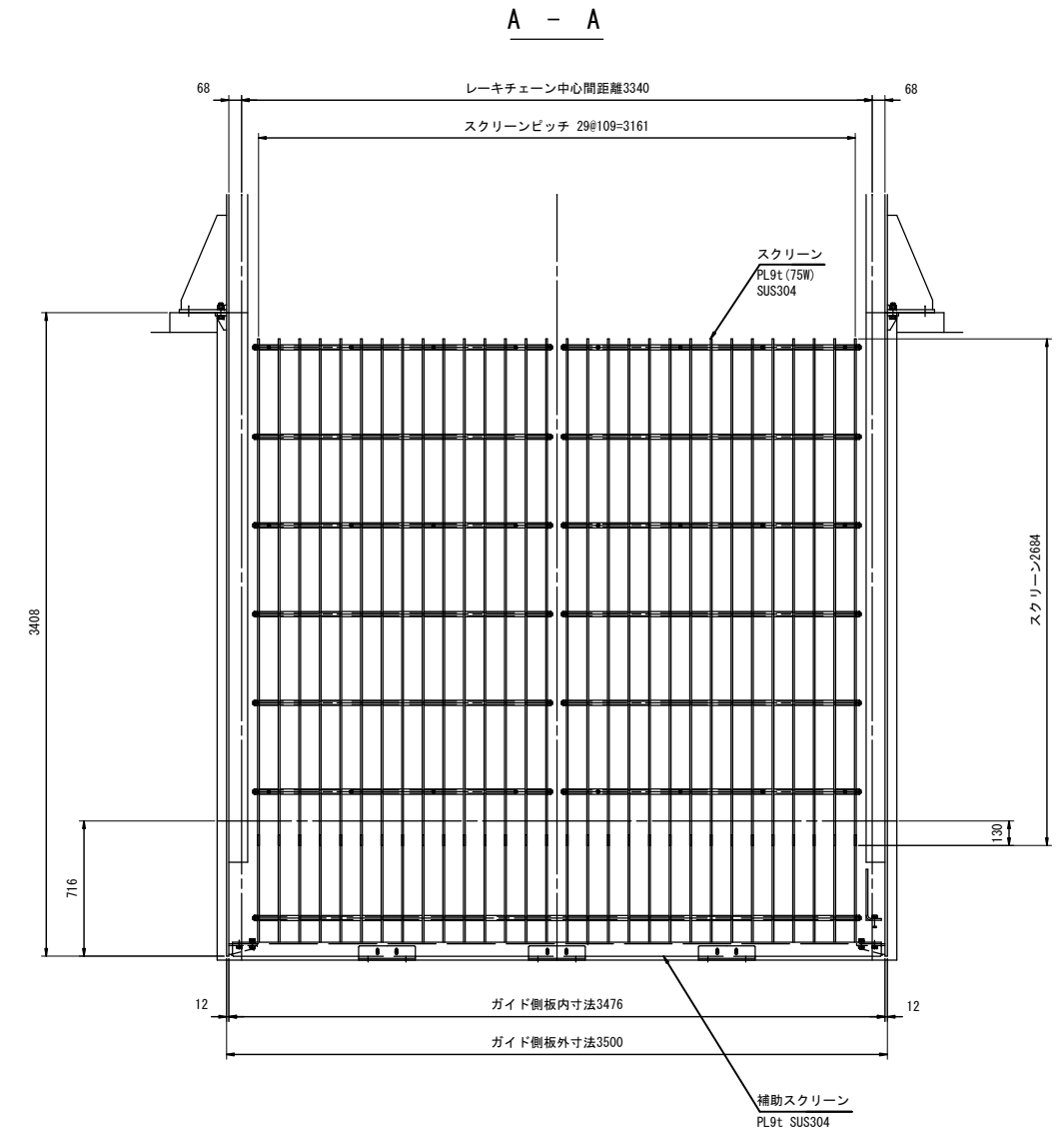
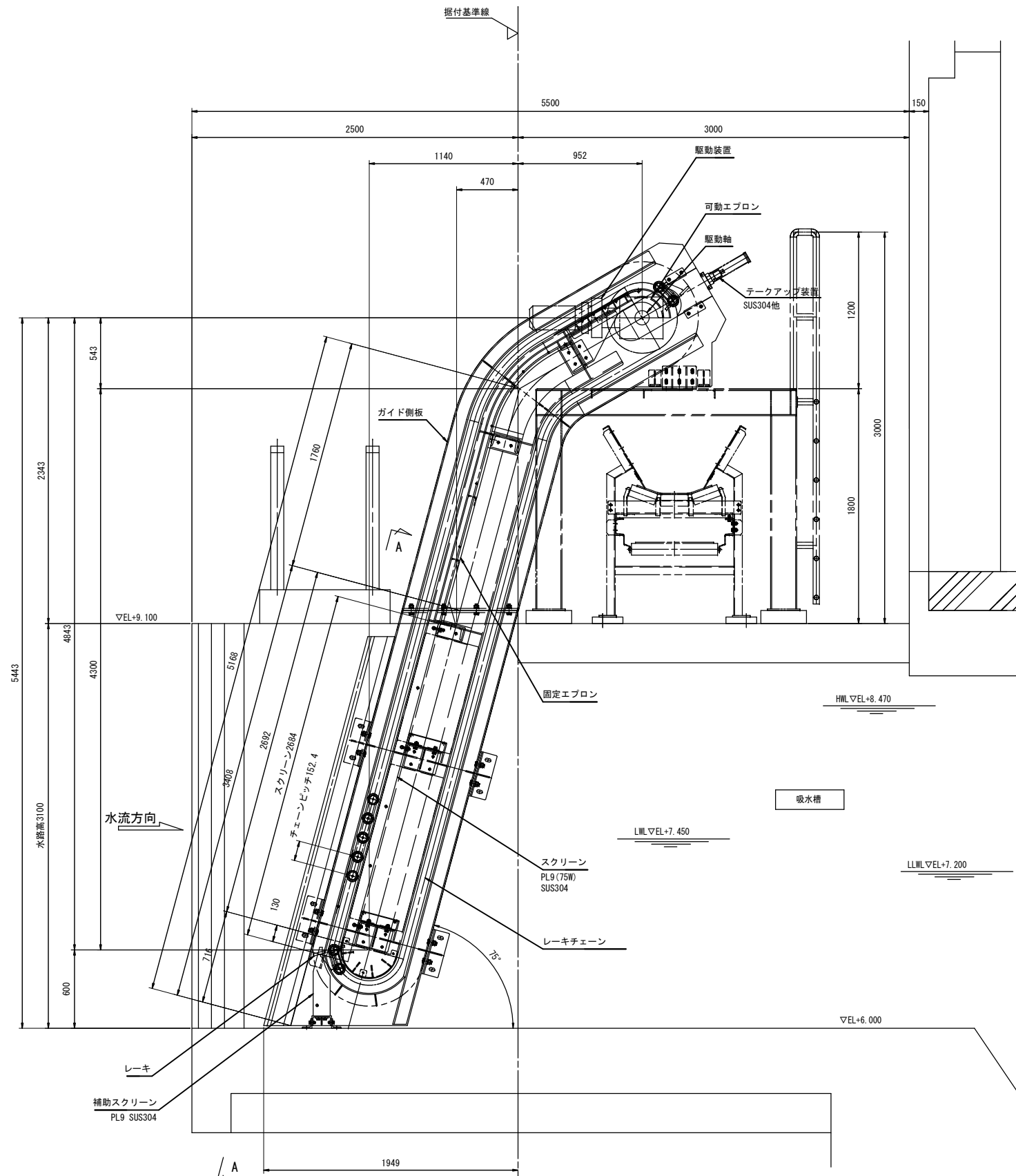


A - A



工事名	御幸排水機場排水設備更新工事
工事場所	福山市御幸町地内
図面名	除塵設備一般図
縮尺	S=1:80 図面番号 2/22

除塵機 断面組立図 S=1:40

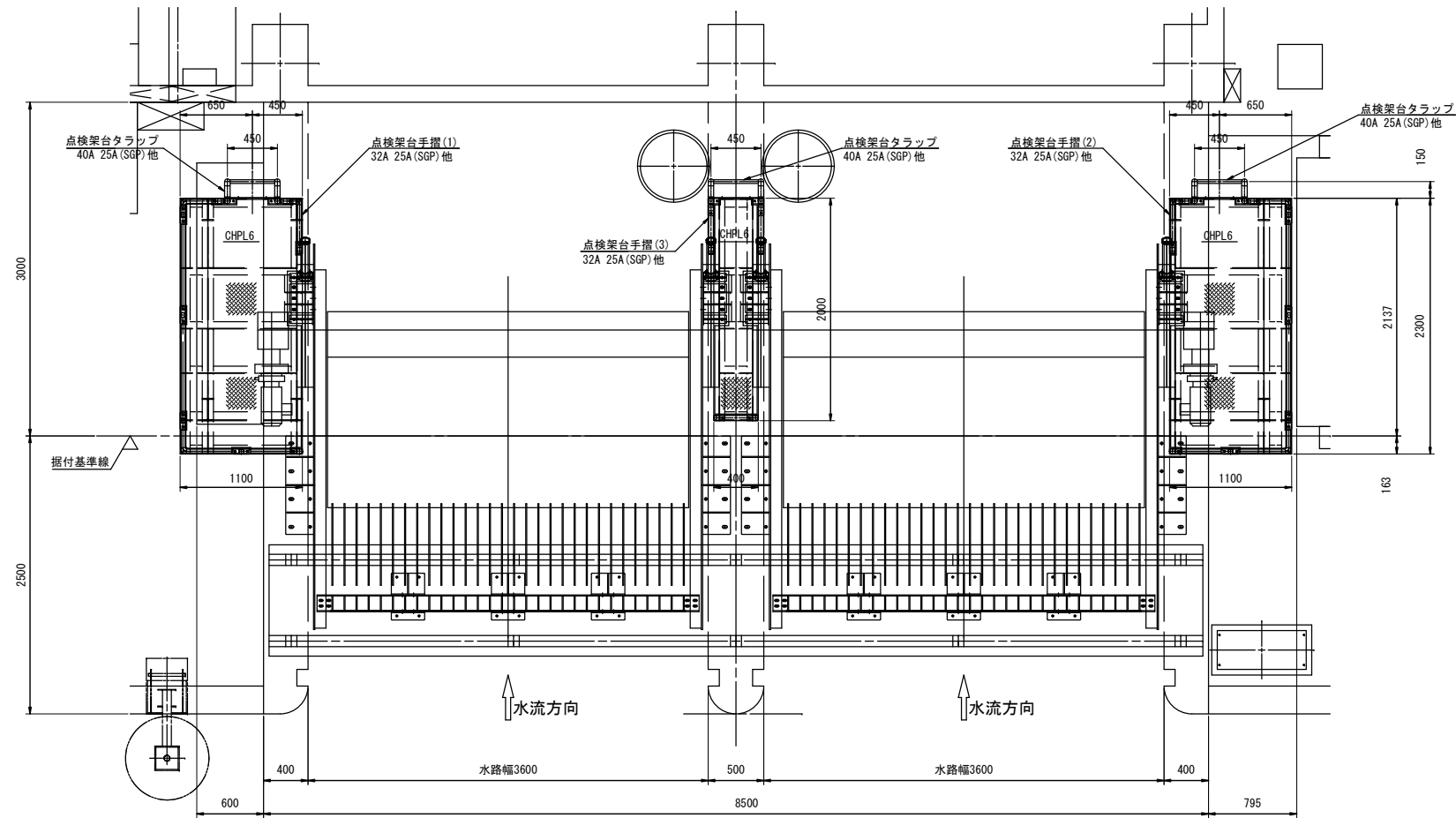


注記
1. 材質: SS400 (特記外)

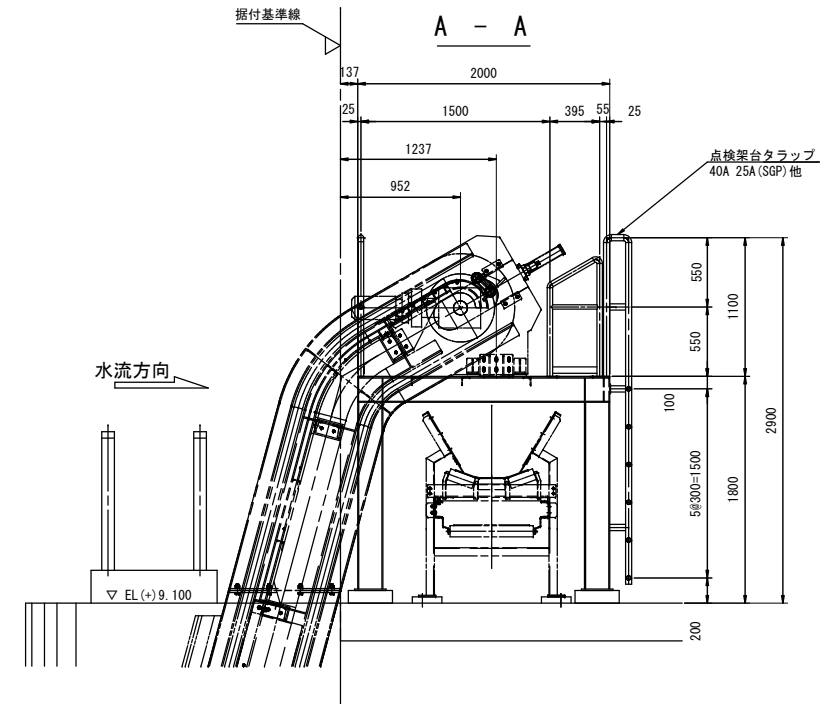
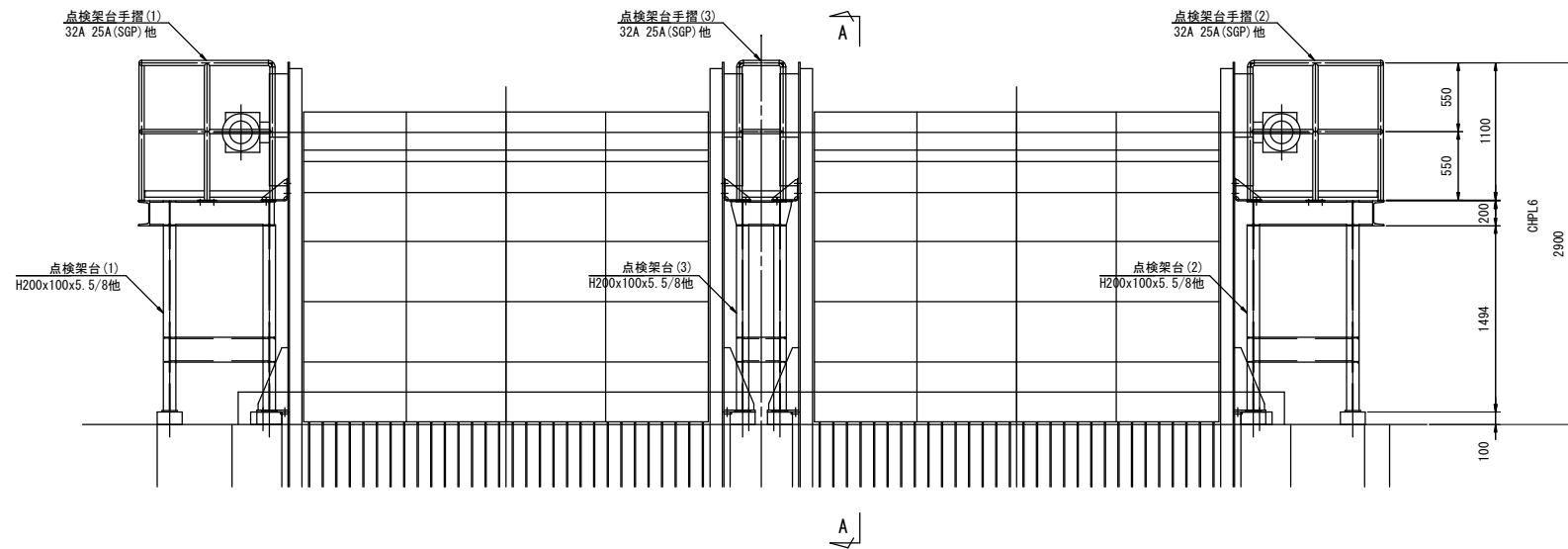
工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	除塵機 断面組立図		
縮尺	S=1:40	図面番号	3/22

除塵機 点検架台組立図 S=1:60

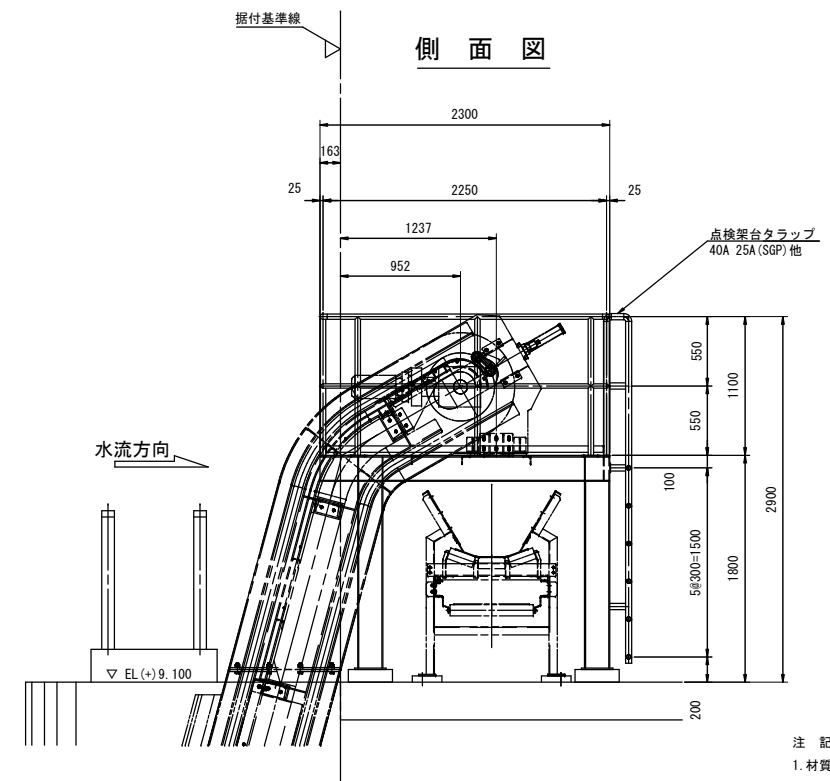
平面図



正面図



側面図



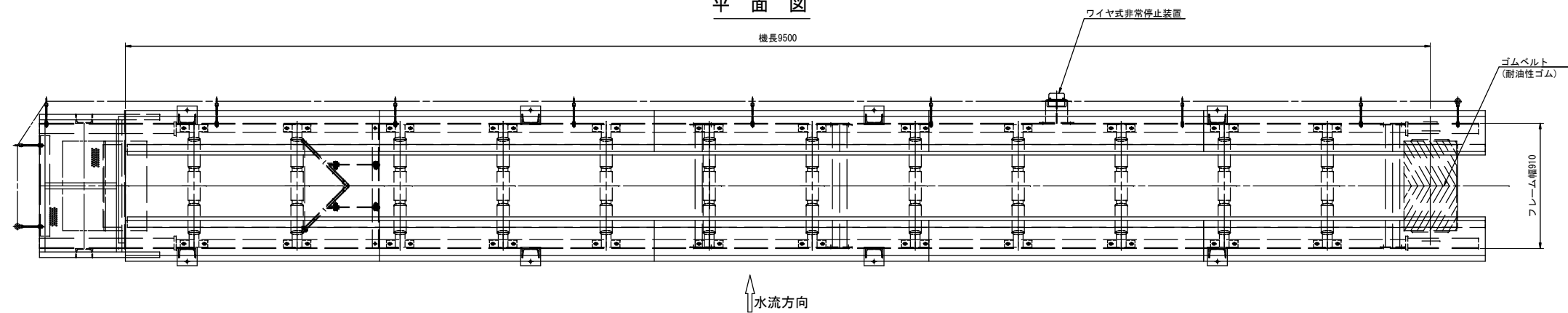
注記
1. 材質: SS400 (特記外)

工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	除塵機 点検架台組立図		
縮尺	S=1:60	図面番号	5/22

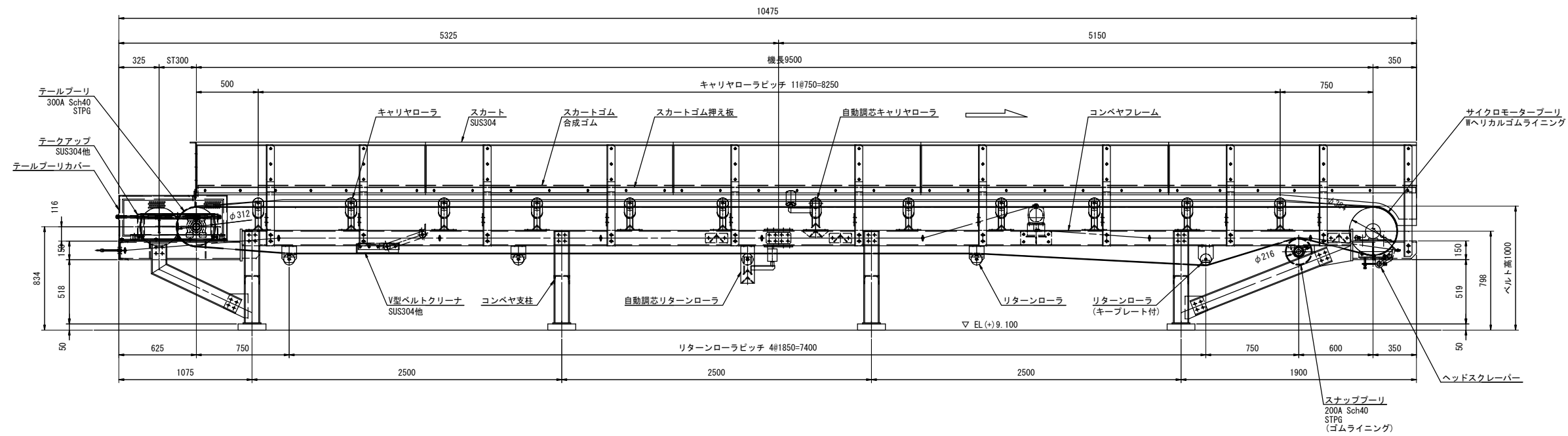
水平コンベヤ一般図 S=1:40

水平コンベヤ 仕様	
形式	トラフ型水平ベルトコンベヤ
水平機長	9.500m
ベルト幅	0.600m
ベルト速度	24m/min
駆動装置	サイクロモータープーリ (Wヘリカルゴムライニング, 1/87) 1.5kWx4Px220Vx60Hz
ゴムベルト	600Wx3Px3.0tx1.5t (耐油性ゴム)
キャリヤローラ	3点ローラ式20° トラフ型 自動調芯キャリヤローラ
リターンローラ	1点ローラ式フラット型 自動調芯リターンローラ
保護装置	ワイヤ式非常停止装置
数量	1基

平面図



正面図

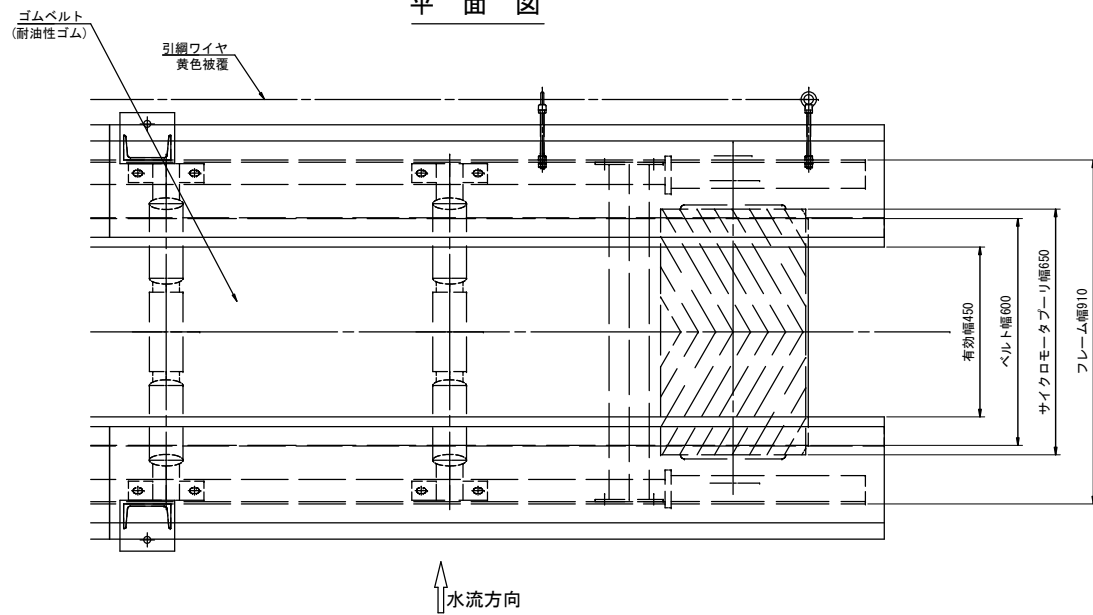


注記
1. 材質: SS400 (特記外)

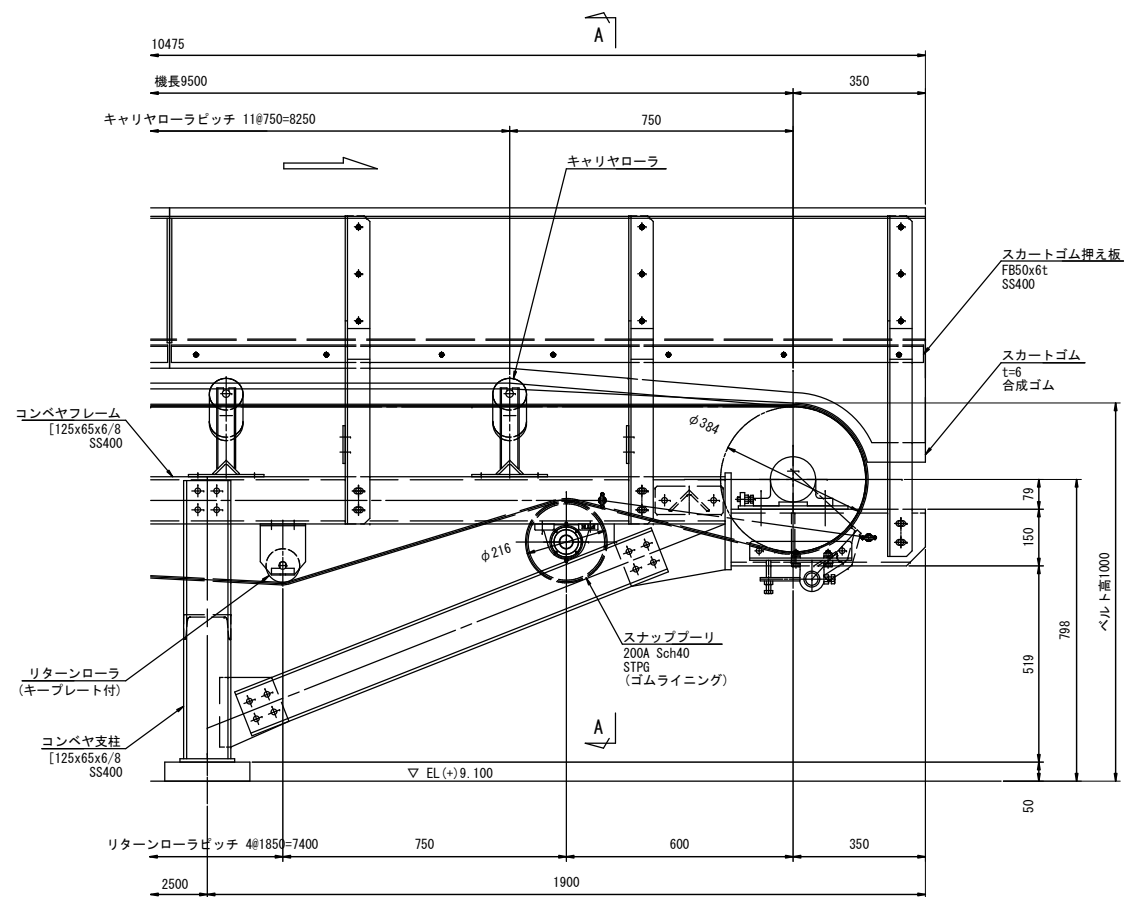
工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	水平コンベヤ一般図		
縮尺	S=1:40	図面番号	6/22

水平コンベヤ ヘッド部組立図 S=1:20

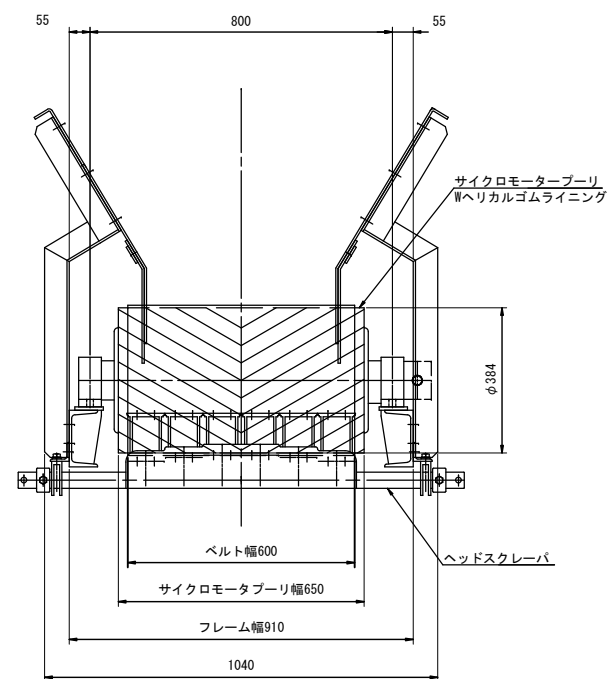
平面図



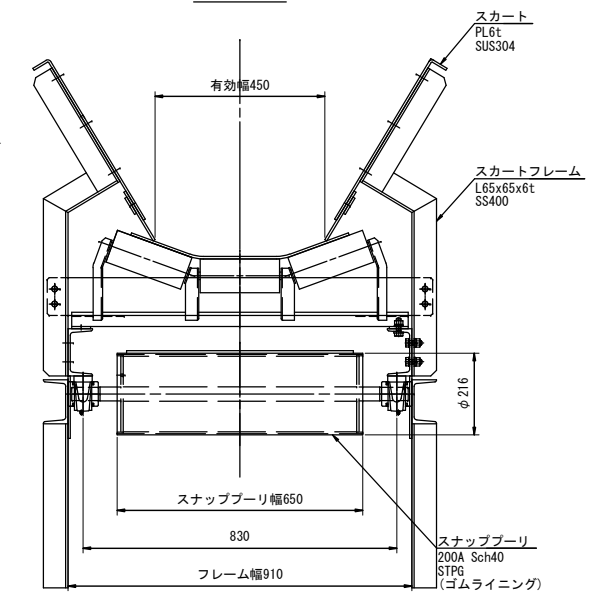
正面図



側面図



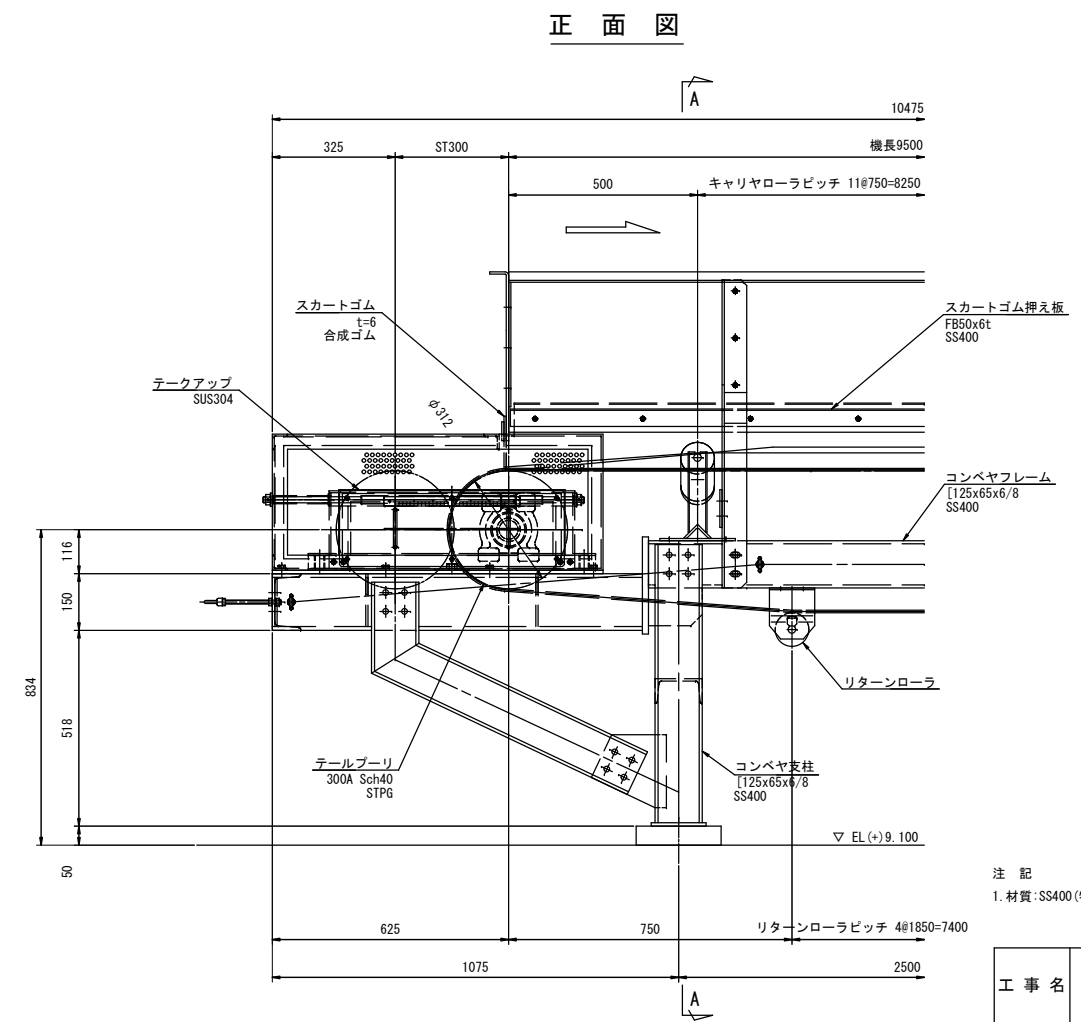
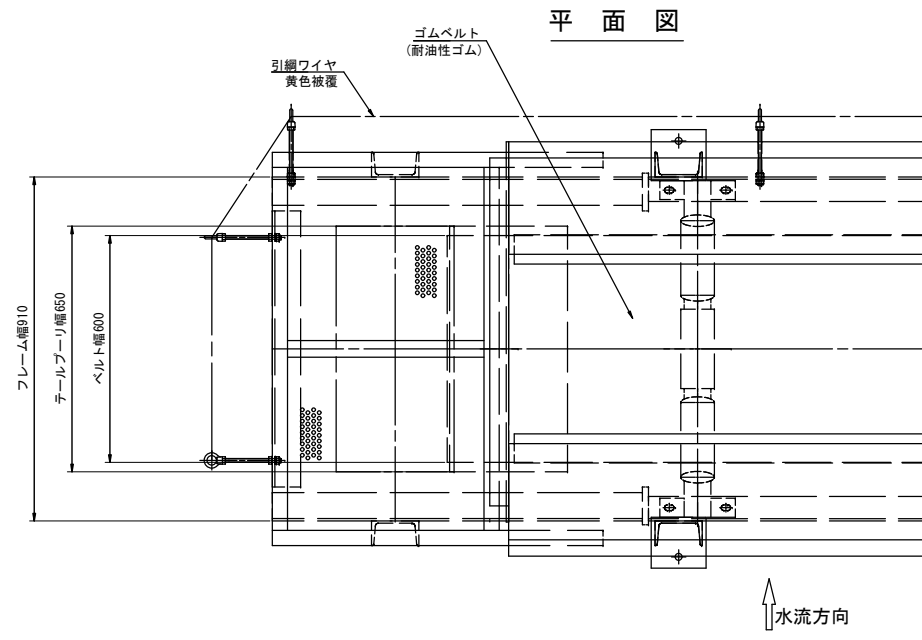
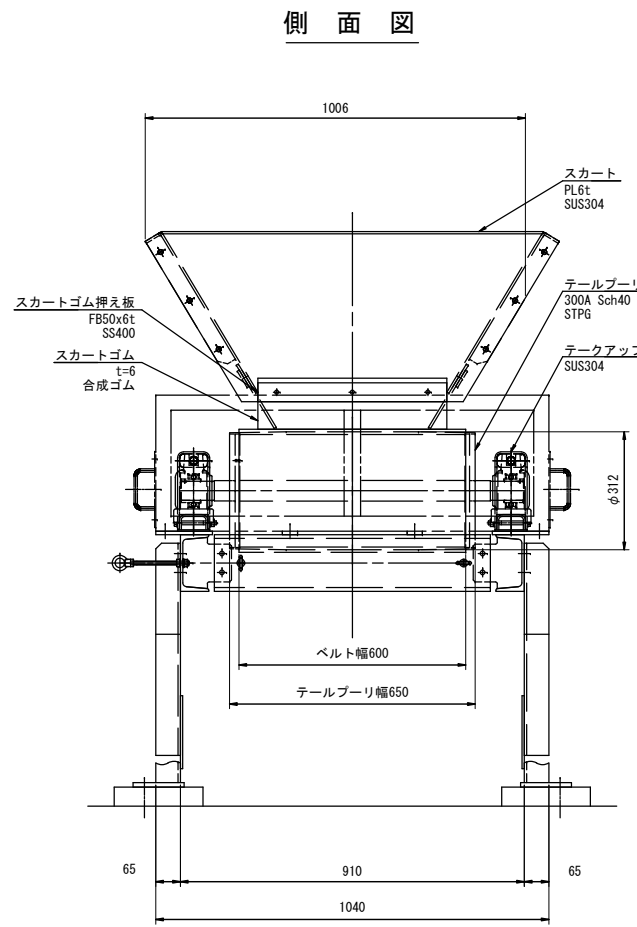
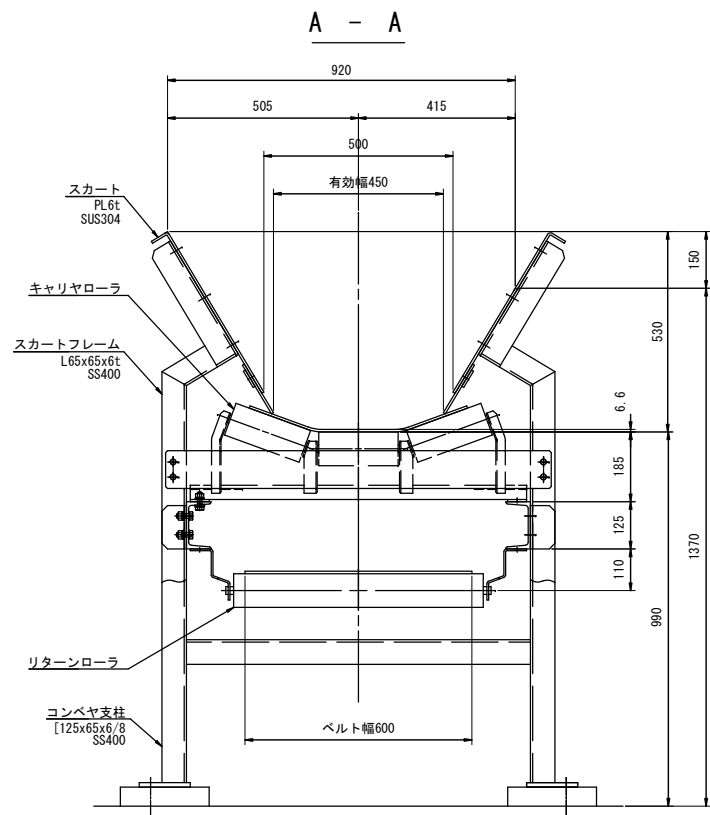
A - A



注記
1. 材質: SS400 (特記外)

工事名	御幸排水機場排水設備更新工事
工事場所	福山市御幸町地内
図面名	水平コンベヤ ヘッド部組立図
縮尺	S=1:20 図面番号 7/22

水平コンベヤ テール部組立図 S=1:20

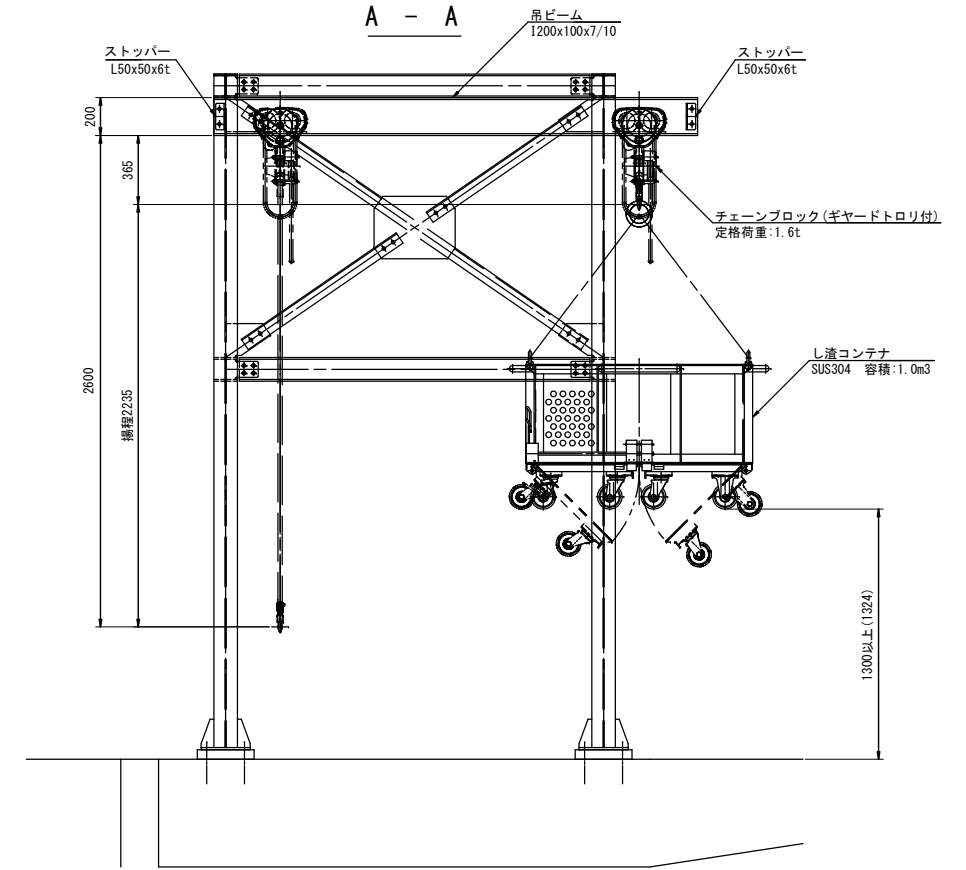
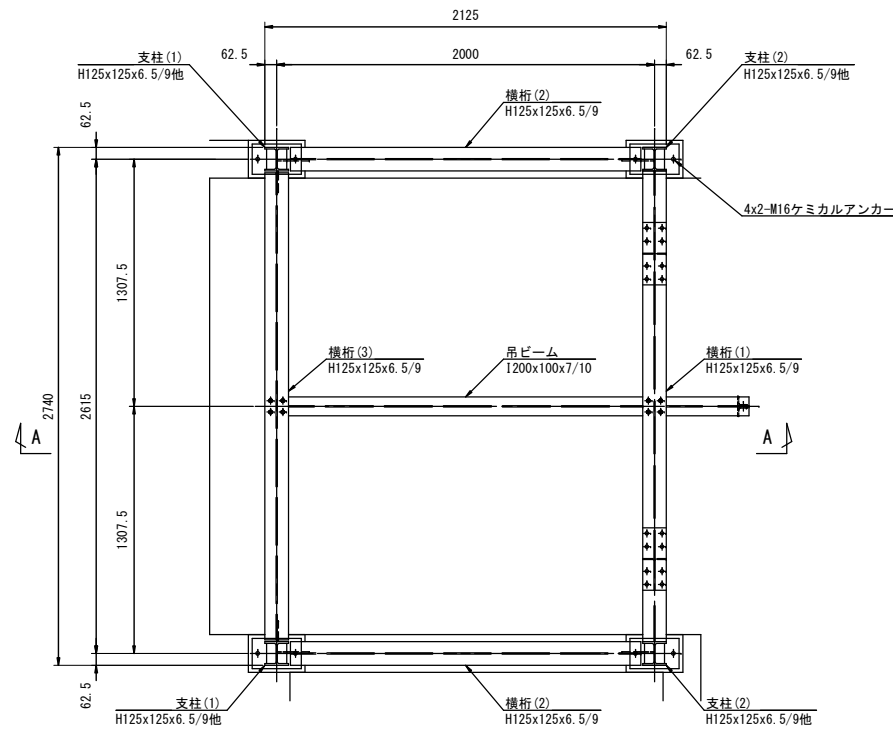


注記
1. 材質: SS400 (特記外)

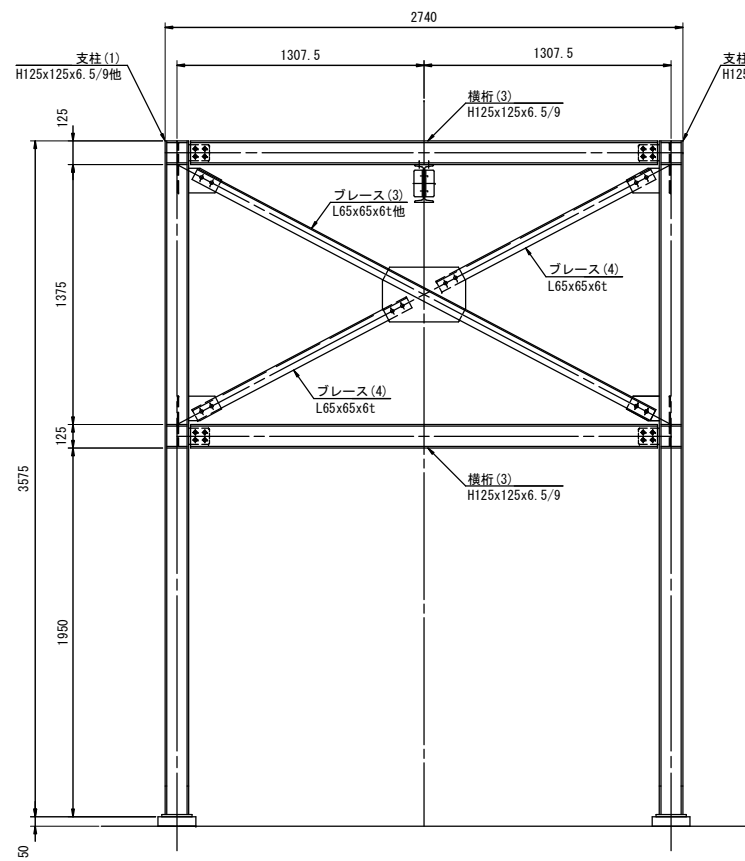
工事名	御幸排水機場排水設備更新工事
工事場所	福山市御幸町地内
図面名	水平コンベヤ テール部組立図
縮尺	S=1:20 図面番号 8/22

吊上装置架台 一般図 S=1:40

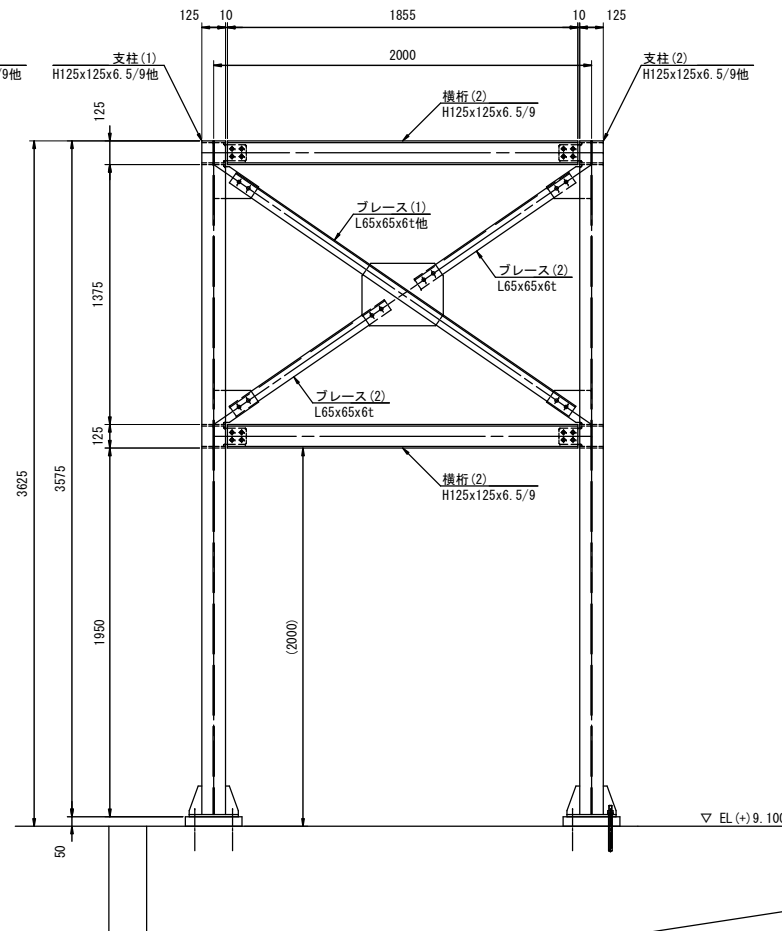
平面図



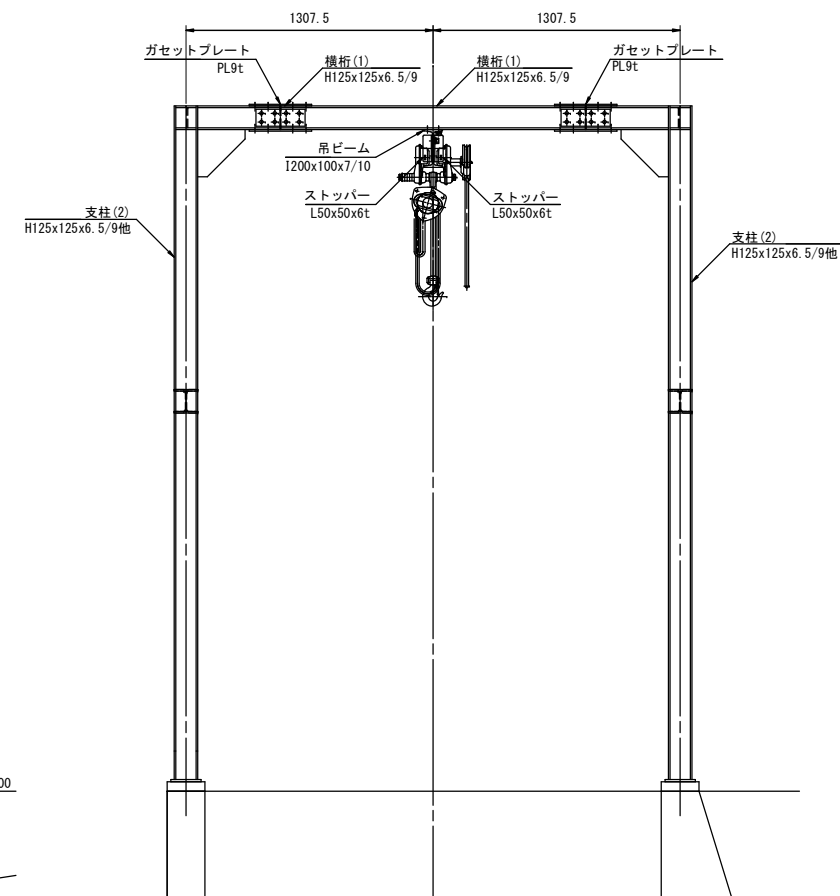
側面図



正面図



側面図

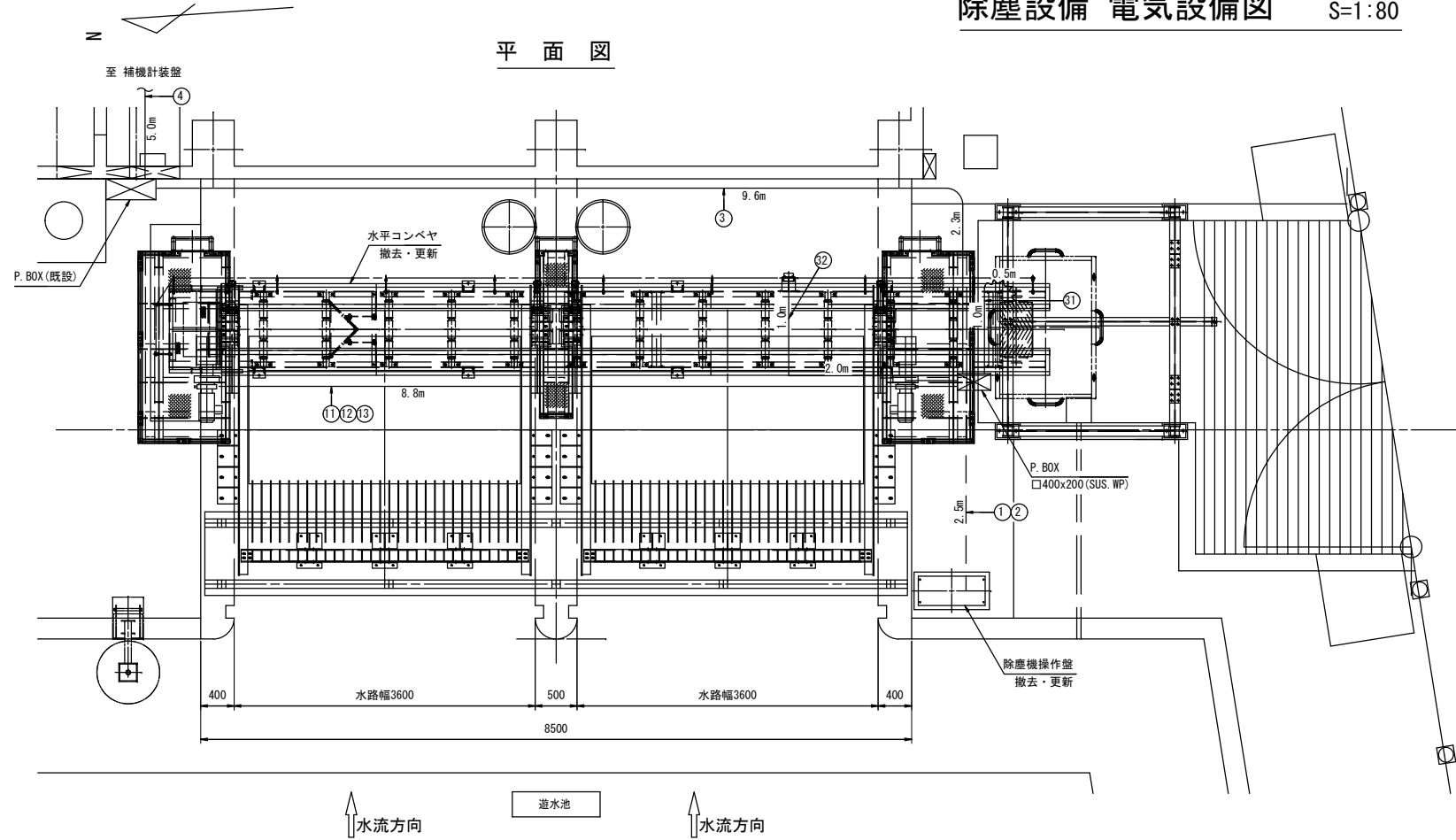


注記
1. 材質: SS400 (特記外)

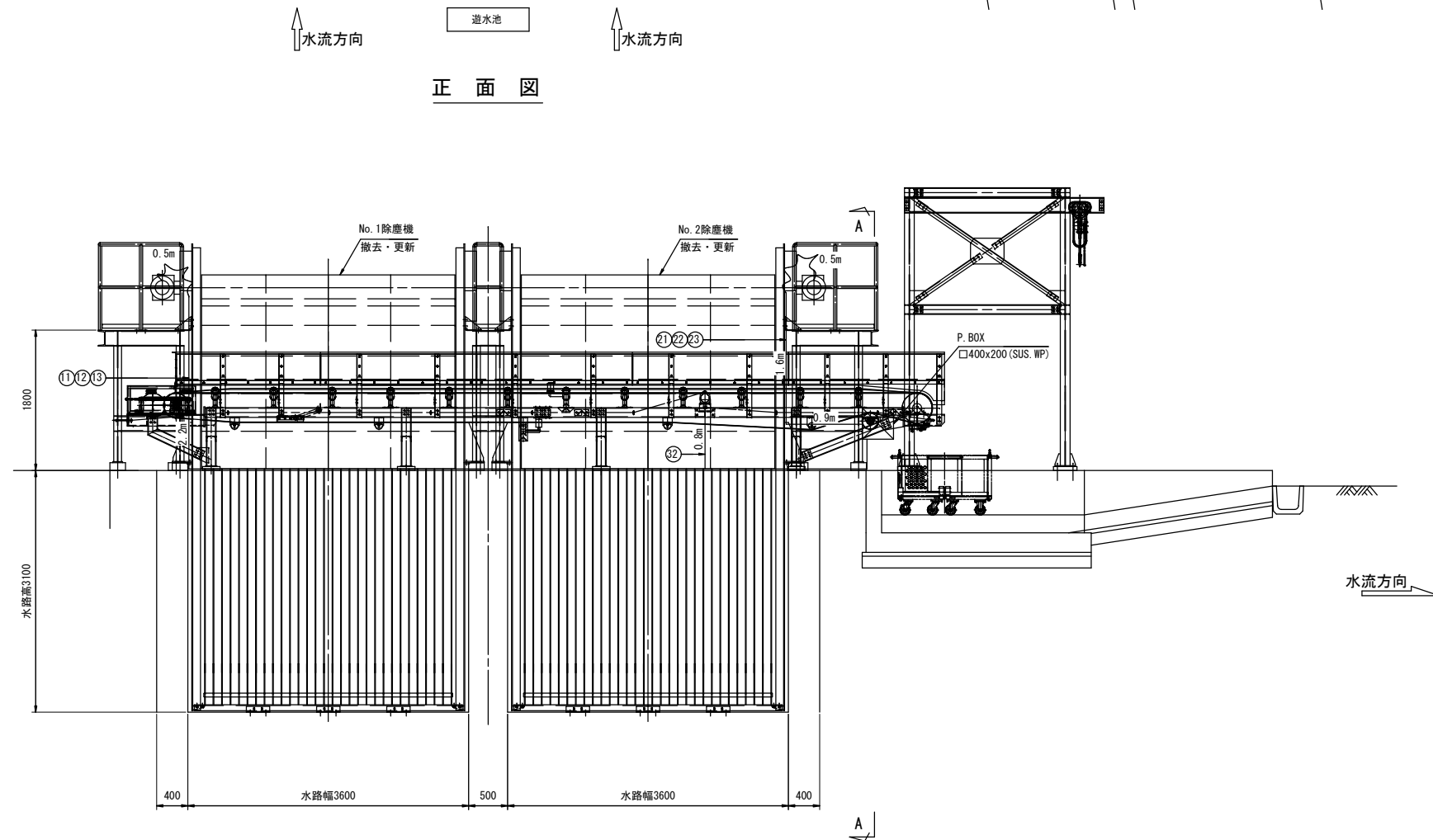
工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	吊上装置架台 一般図		
縮尺	S=1:40	図面番号	9/22

除塵設備 電気設備図 S=1:80

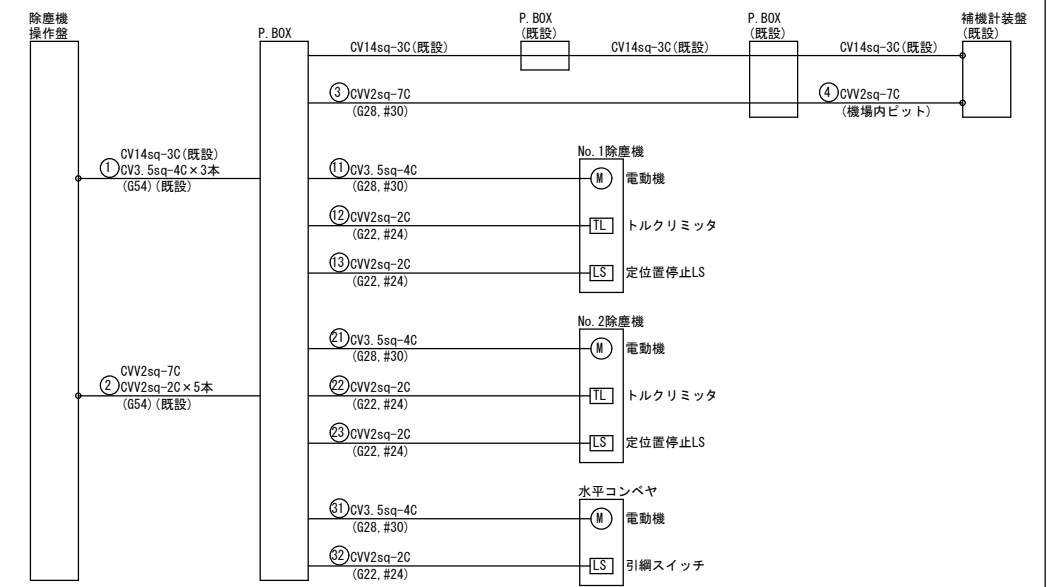
平面図



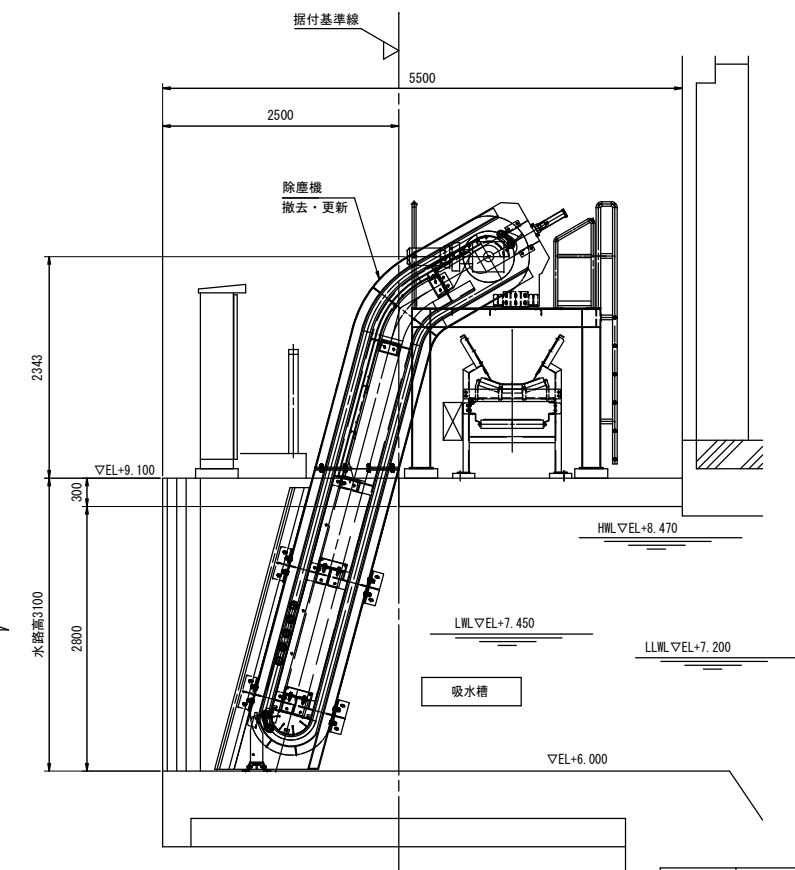
正面図



配線配管系統図



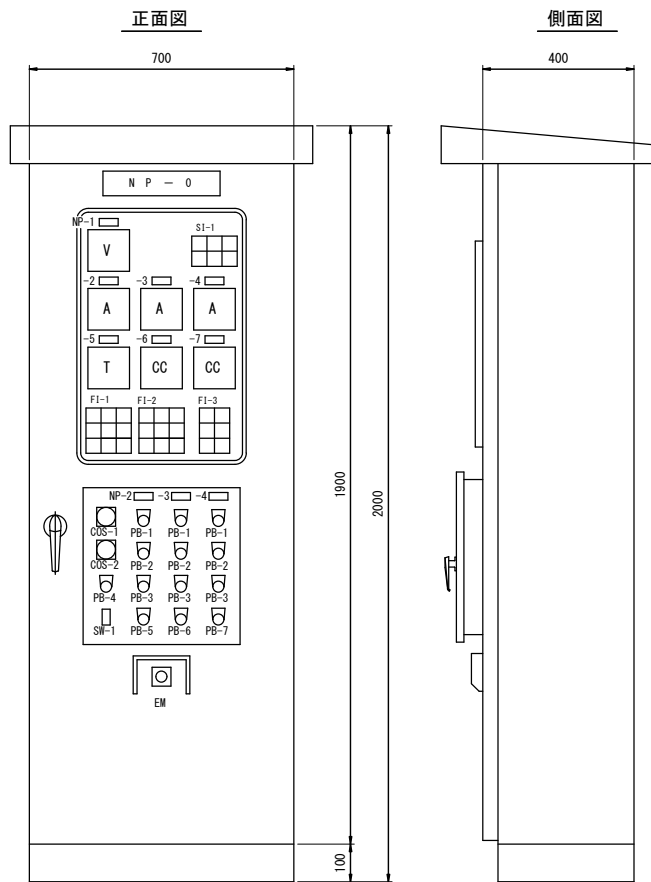
A - A



工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	除塵設備 電気設備図		
縮尺	S=1:80	図面番号	10/22

除塵機操作盤姿図及び結線図 S=1:20

盤姿図



SI-1

電源	単独	漏電
非常停止	連動	

FI-1

NO. 1 除塵機	NO. 1 除塵機	NO. 1 除塵機
正転	3E動作	MCCB トリップ
NO. 1 除塵機	NO. 1 除塵機	NO. 1 除塵機
停止	過トルク	接点溶着
NO. 1 除塵機	NO. 1 除塵機	
寸逆	停止動作中	

FI-2

NO. 2 除塵機	NO. 2 除塵機	NO. 2 除塵機
正転	3E動作	MCCB トリップ
NO. 2 除塵機	NO. 2 除塵機	NO. 2 除塵機
停止	過トルク	接点溶着
NO. 2 除塵機	NO. 2 除塵機	
寸逆	停止動作中	

FI-3

水平コンベヤ	水平コンベヤ
正転	3E動作
水平コンベヤ	水平コンベヤ
停止	MCCB トリップ
水平コンベヤ	水平コンベヤ
寸逆	接点溶着



名称板記入文字

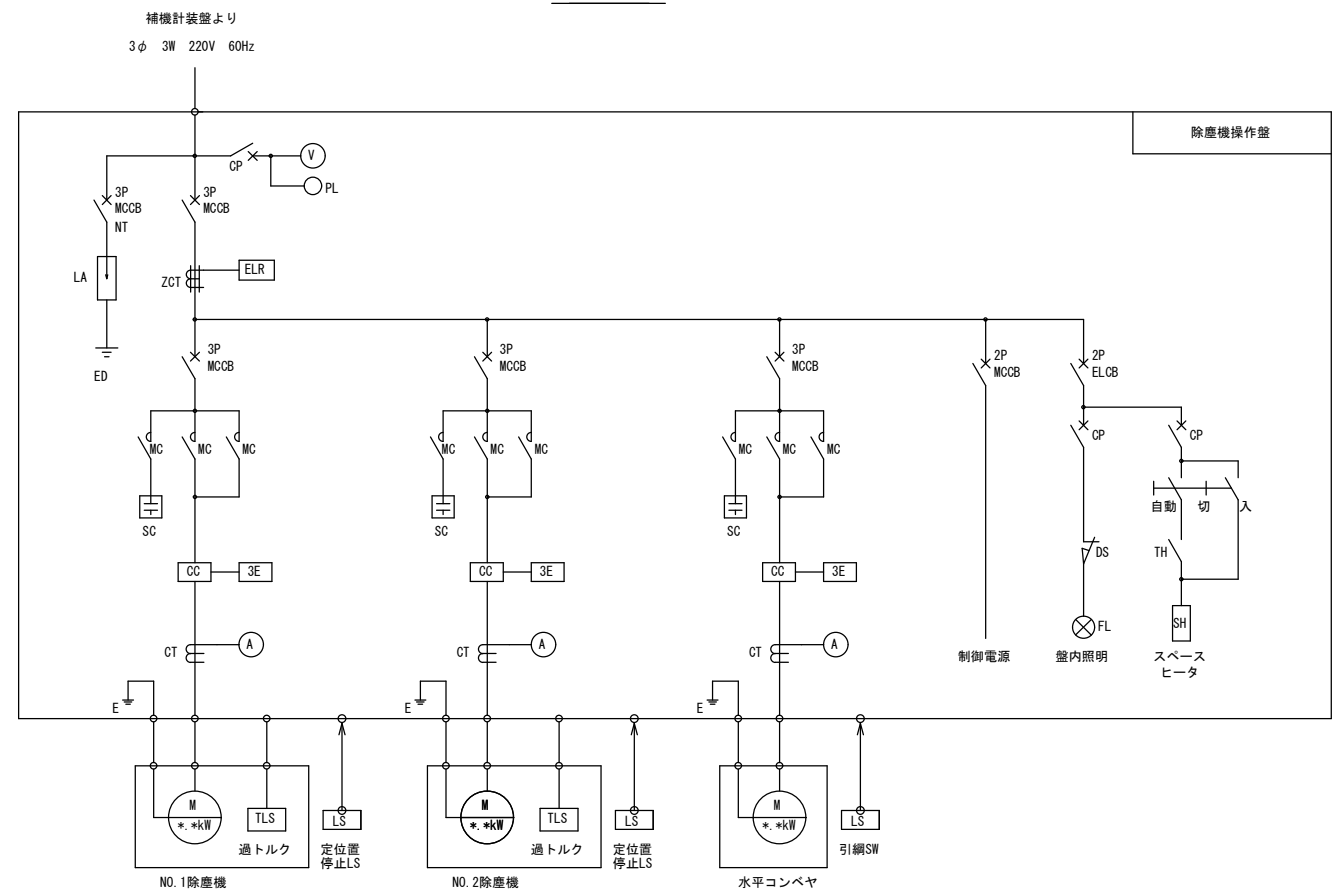
記号	記入文字
NP-0	除塵機操作盤
-1	電圧
-2	NO. 1 除塵機
-3	NO. 2 除塵機
-4	水平コンベヤ
-5	運転時間タイマ
-6	NO. 1 回数設定
-7	NO. 2 回数設定

記号	名称
COS-1	切替スイッチ (単独-連動)
-2	" (連動切替 1-2-3)
PB-1	押釦スイッチ (正転)
-2	" (停止)
-3	" (寸逆)
-4	" (連動スタート)
-5	" (警報停止)
-6	" (故障復帰)
-7	" (ランプテスト)
EM	押釦スイッチ (非常停止)
SW-1	運転間隔タイマ (入-切)
-2	盤内ヒータ (入-切-自動)
-3	ブザー (入-切)

盤製作仕様

形式	屋外閉鎖自立形
本体	鋼板 2.3mm
大扉	鋼板 3.2mm
小扉	鋼板 2.3mm
中板	鋼板 2.3mm
ベース	SS 溝形鋼
塗装色	マンセル5Y7/1 全艶
塗料	メラミン焼付塗装
膜厚	外面 60μm 内面 40μm

結線図



凡例

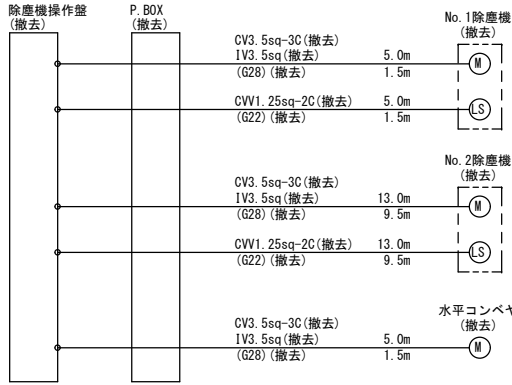
記号	名称
MCCB	配線用遮断器
ELCB	漏電遮断器
CP	サーキットプロテクタ
LA	避雷器
ZCT	零相変流器
ELR	漏電リレー
MC	電磁接触器
SC	進相コンデンサー
CC	カレントコンバータ
3E	3Eリレー
CT	変流器
V	電圧計
A	電流計

記号	名称
DS	ドアスイッチ
FL	盤内照明灯
SH	スペースヒータ
TH	サーモスイッチ
M	電動機
TLS	トルクリミッタ
LS	リミットスイッチ

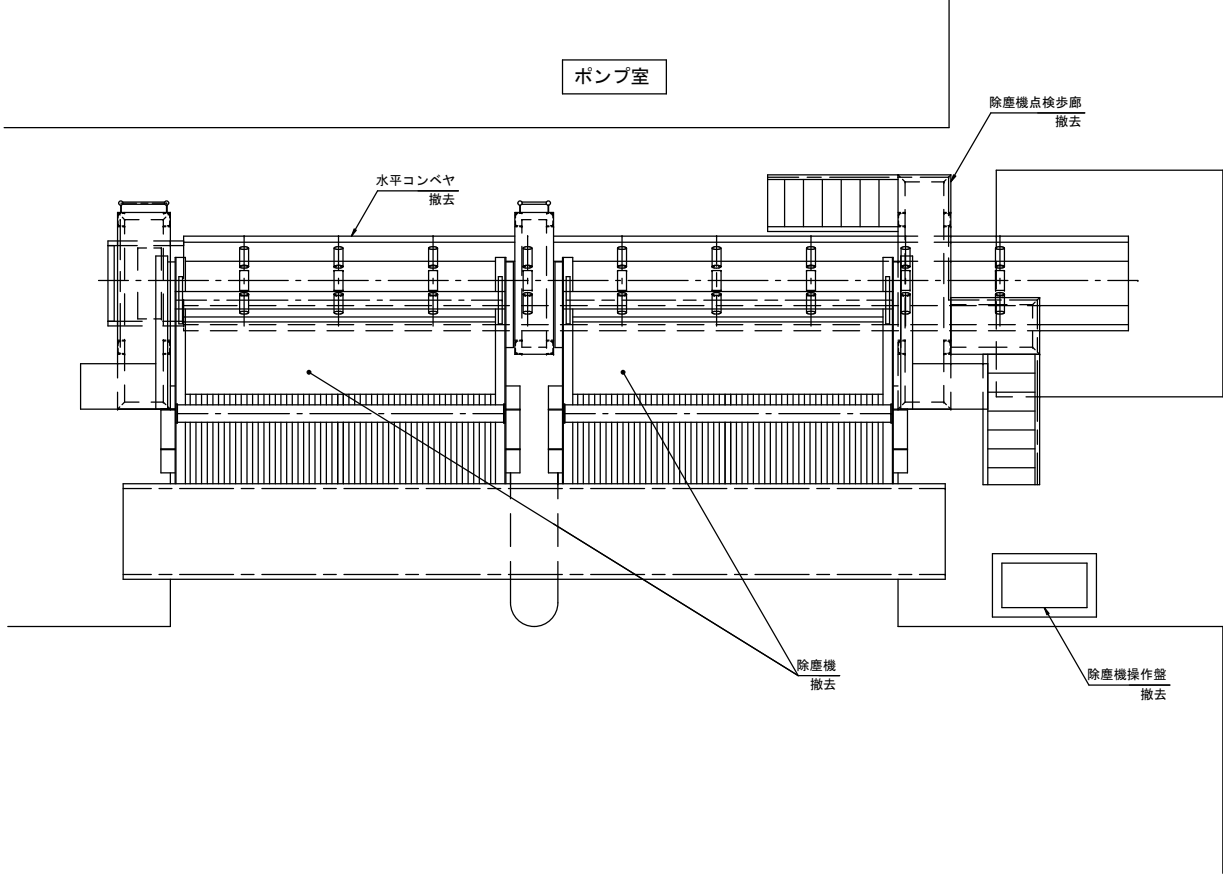
工事名	御幸排水機場排水設備更新工事
工事場所	福山市御幸町地内
図面名	除塵機操作盤姿図及び結線図
縮尺	S=1:20 図面番号 11/22

除塵設備撤去図 S=1:80

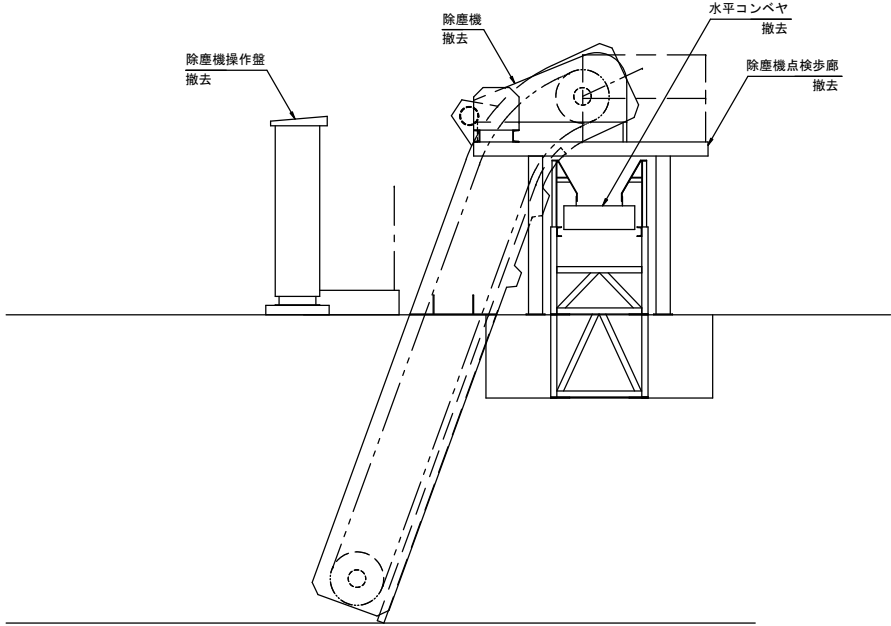
配線配管系統図(撤去)



平面図

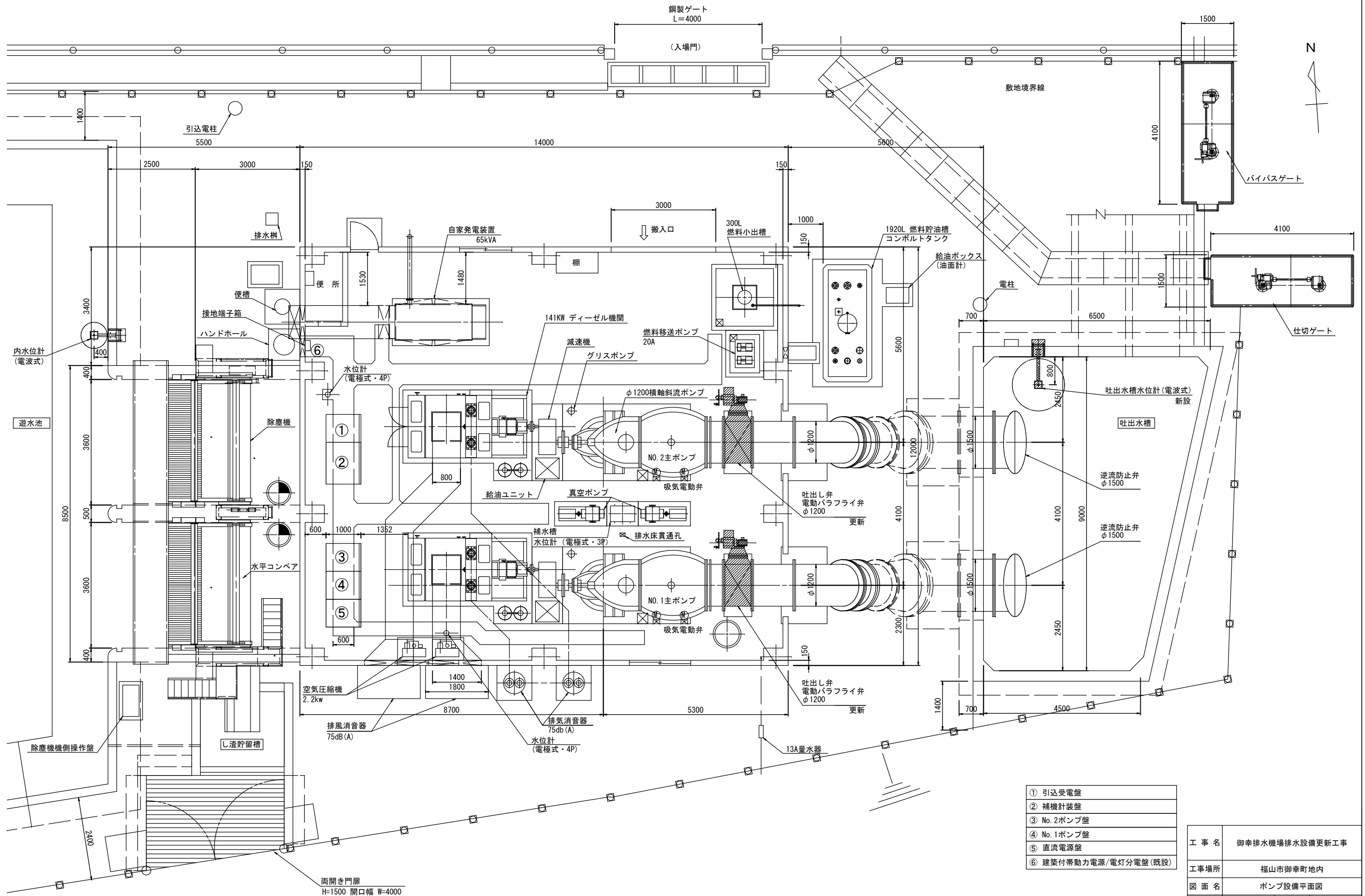


側面図



工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	除塵設備撤去図		
縮尺	S=1:80	図面番号	12/22

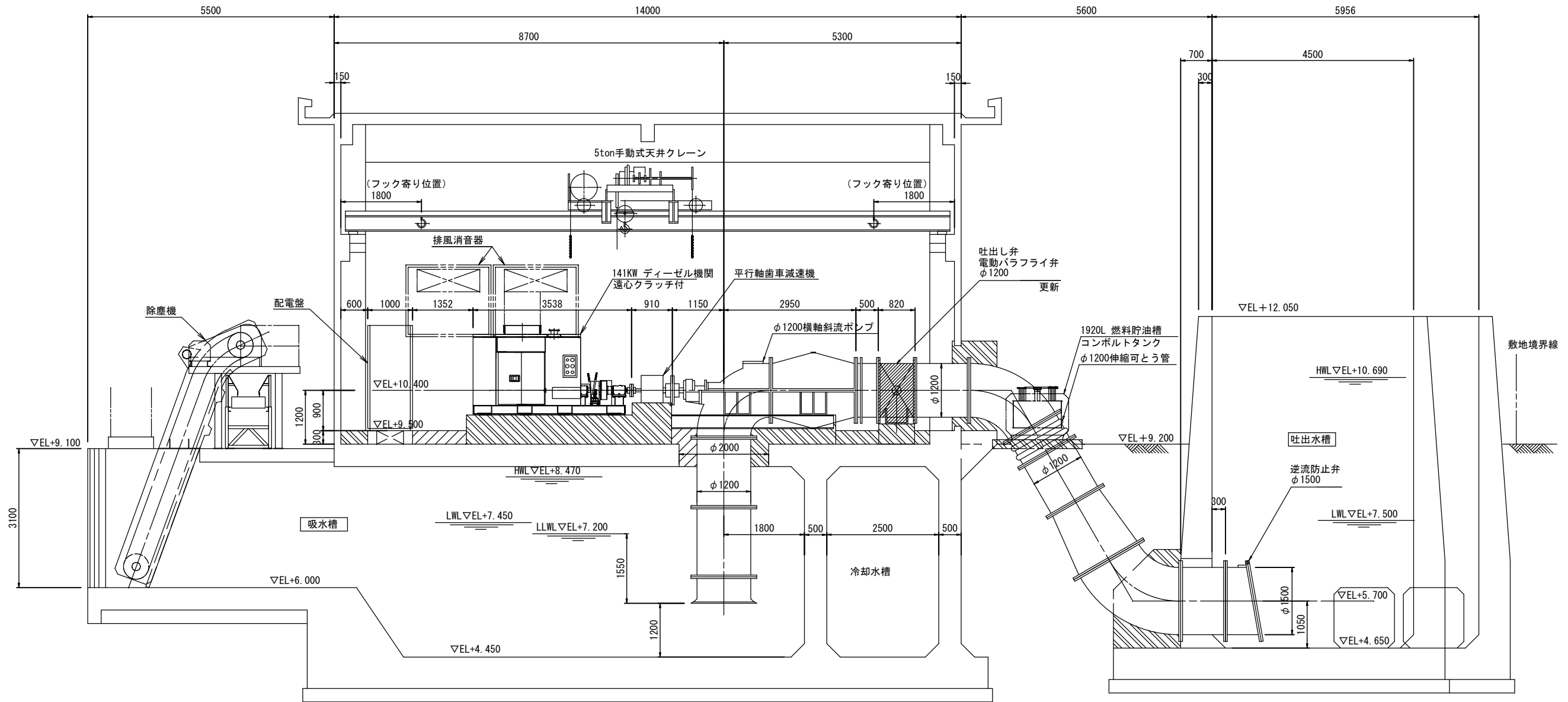
ポンプ設備平面図 S=1:100



- ① 引込受電盤
- ② 補機計装盤
- ③ No. 2ポンプ盤
- ④ No. 1ポンプ盤
- ⑤ 直流電源盤
- ⑥ 建築付帯動力/電灯分電盤 (既設)

工事名	御幸排水機場排水設備更新工事
工事場所	福山市御幸町地内
図面名	ポンプ設備平面図
縮尺	S=1:100 図面番号 13/22

ポンプ設備断面図 S=1:100

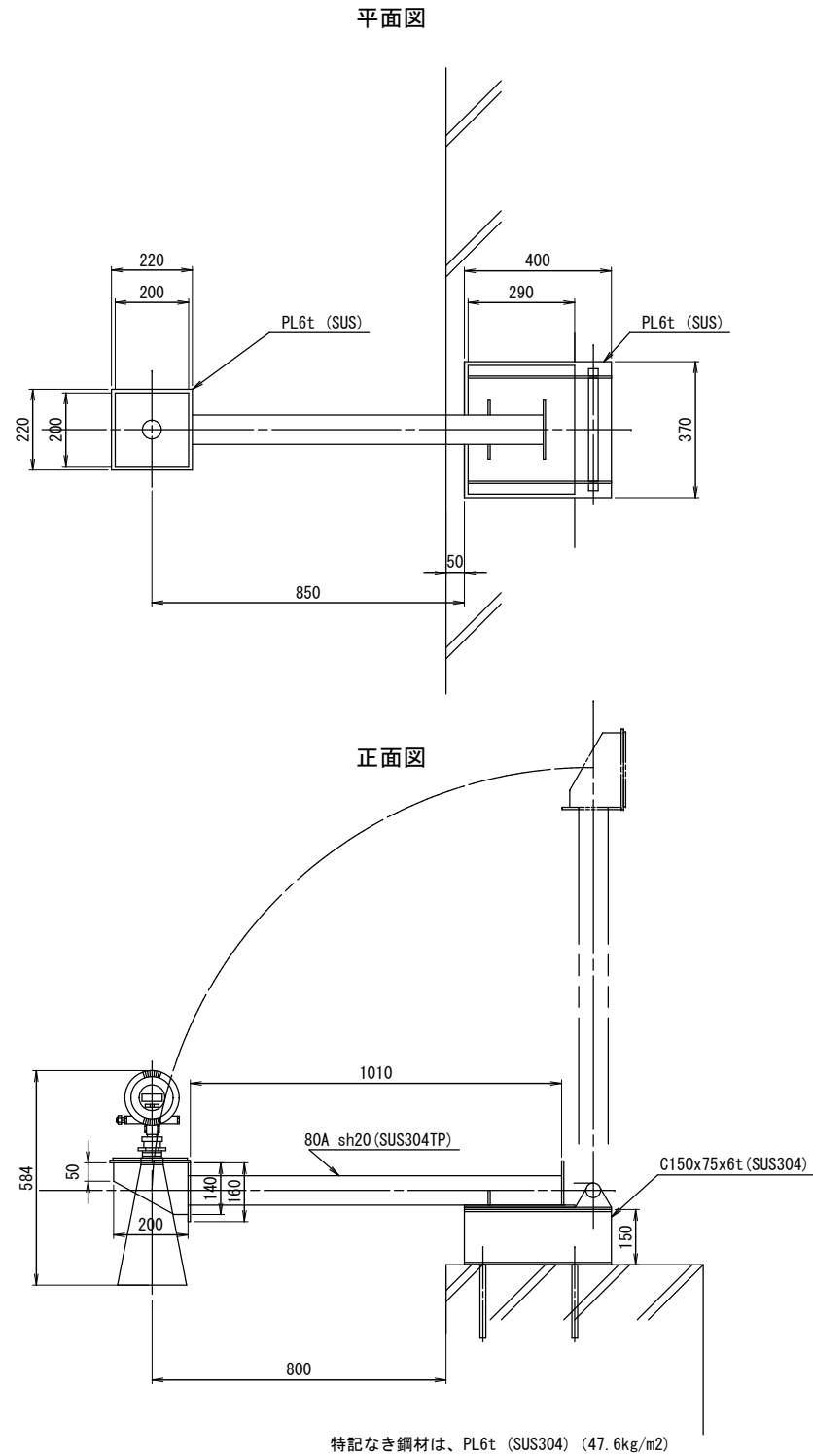


工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	ポンプ設備断面図		
縮尺	S=1:100	図面番号	14/22

吐出水槽水位計取付図 S=1:20

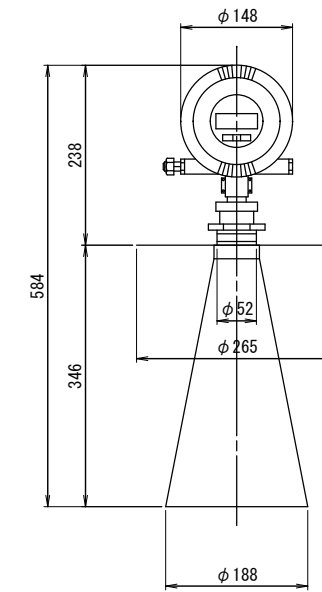
吐出水槽水位計

電波式水位計取付図 (S=1:20)



電波式水位計詳細図 (S=1:10)

数量：1個

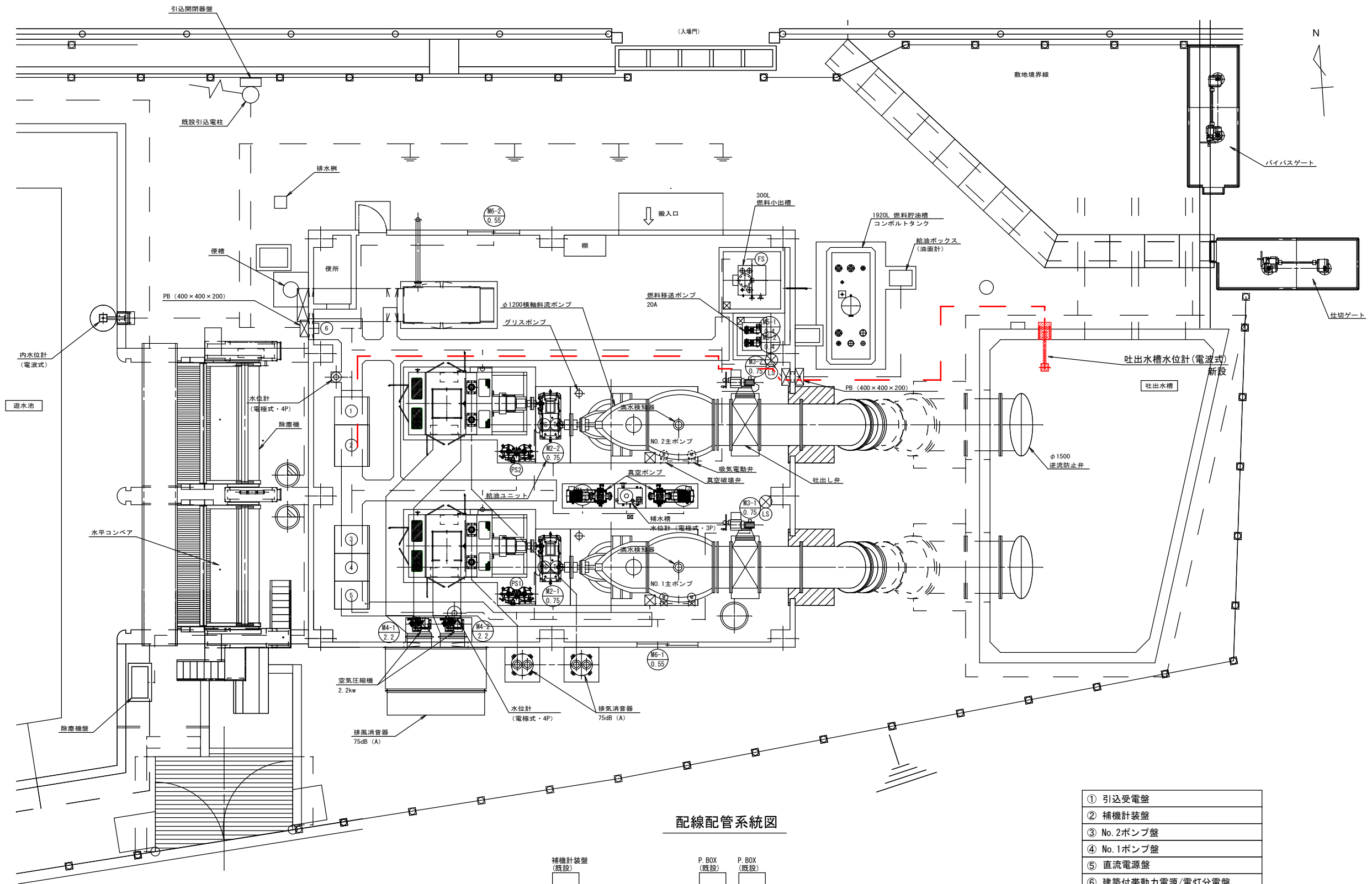


注記：
1.寸法は参考値とする。

工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	吐出水槽水位計取付図		
縮尺	図示	図面番号	15/22

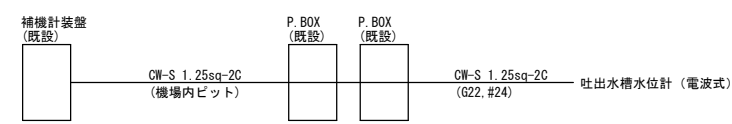
水位計 電気設備図 S=1:120

平面図



配線配管系統図

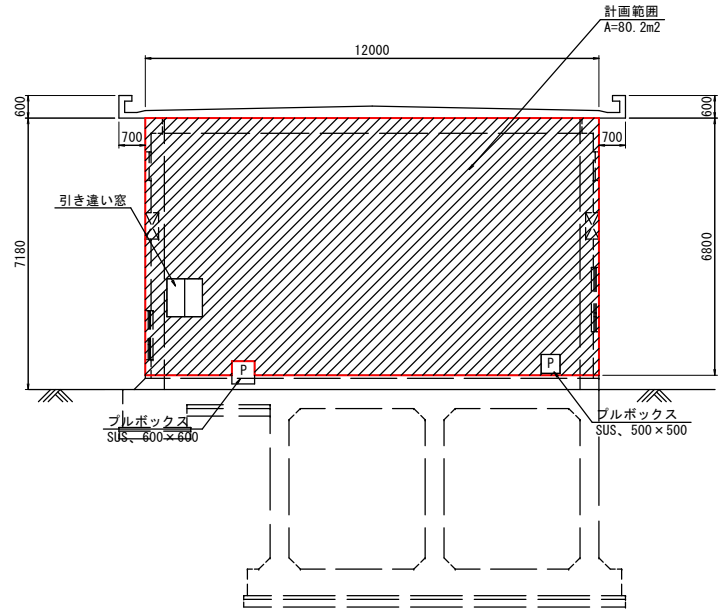
- ① 引込受電盤
- ② 補機計装盤
- ③ No. 2ポンプ盤
- ④ No. 1ポンプ盤
- ⑤ 直流電源盤
- ⑥ 建築付帯動力電源/電灯分電盤



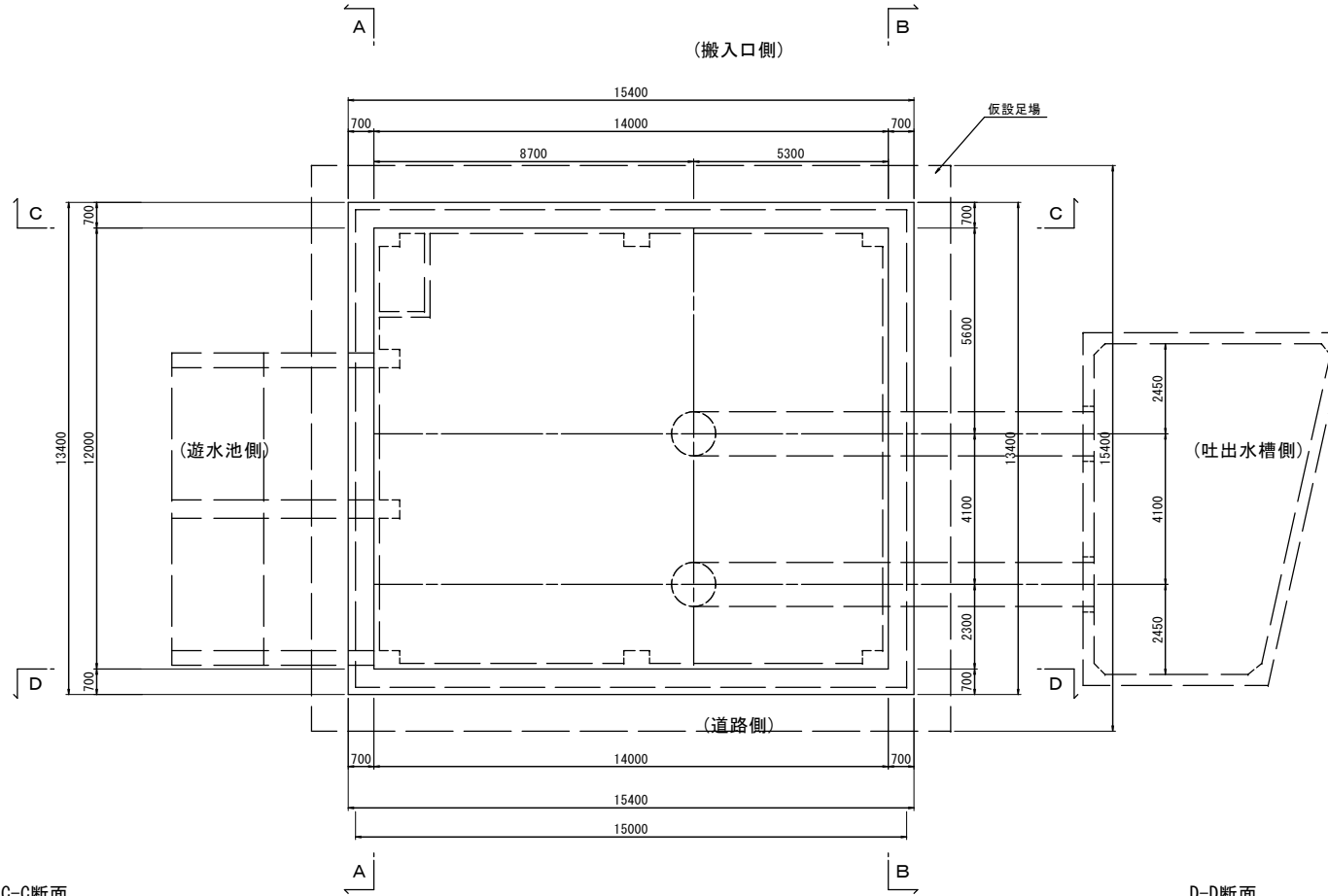
工事名	御幸排水機場排水設備更新工事
工事場所	福山市御幸町地内
図面名	水位計 電気設備図
縮尺	S=1:120 図面番号 16/22

建築設備工計画図(1/5) (外壁塗装工計画図)

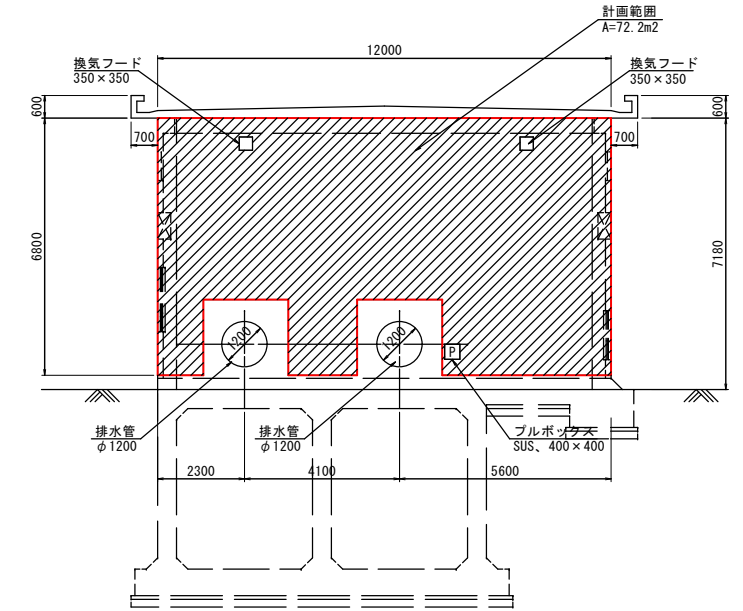
A-A断面
(遊水池側)



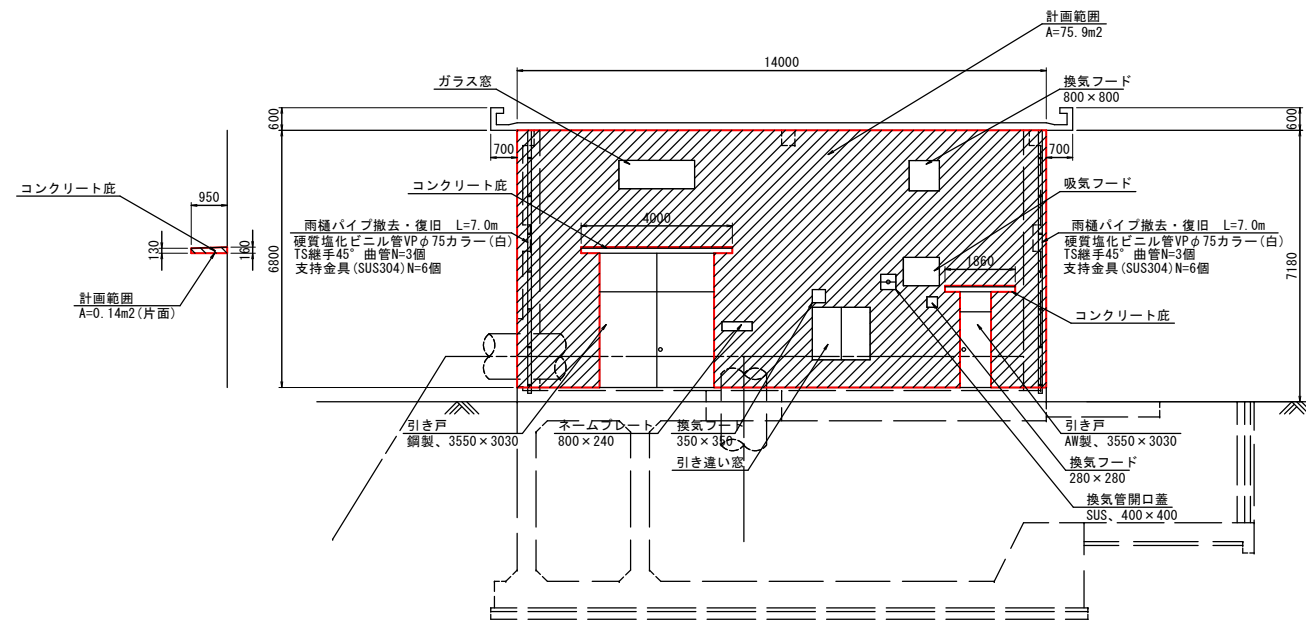
平面図
(天井裏面及び側面)



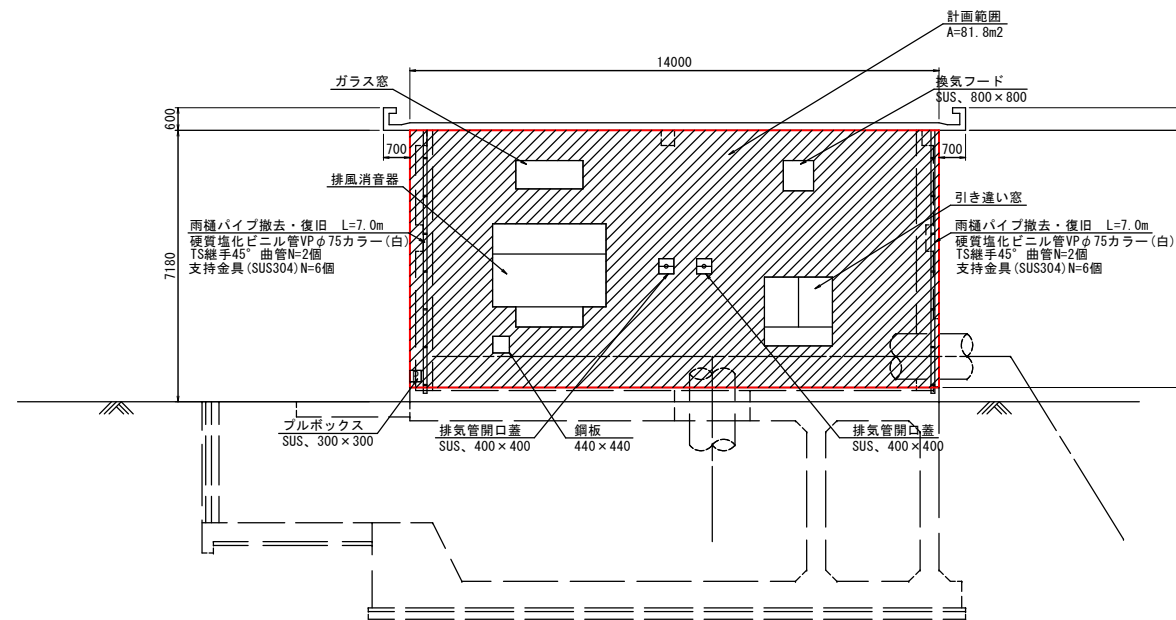
B-B断面
(吐出水槽側)



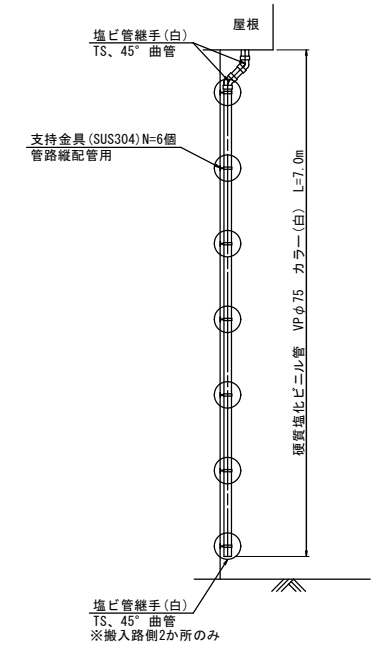
C-C断面
(搬入口側)



D-D断面
(道路側)



雨樋パイプ参考図
s=1:50



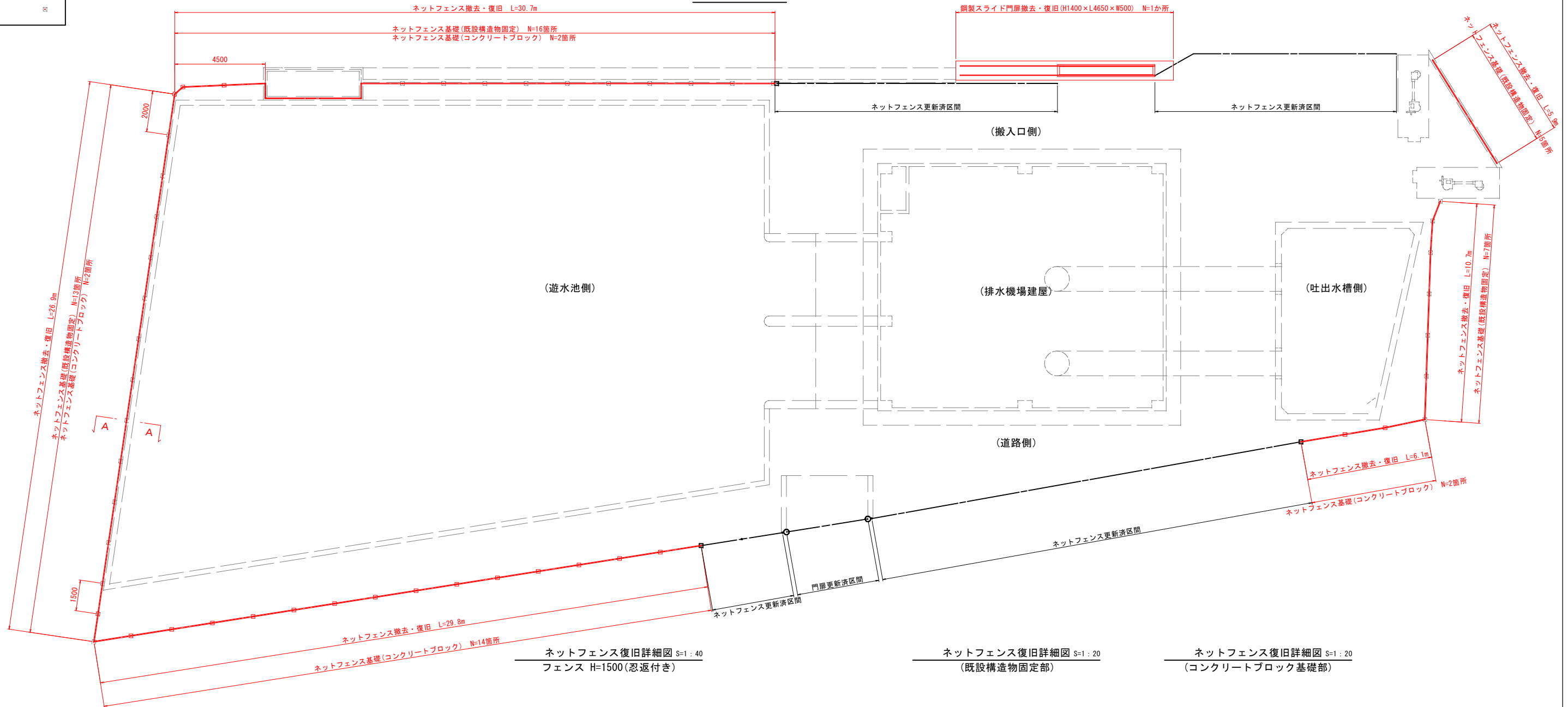
工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	外壁塗装工計画図		
縮尺	S=1:200	図面番号	17/22

凡例

- ネットフェンス更新済
- ネットフェンス今回更新対象
- コンクリートブロック基礎
- 既設構造物固定基礎

建築設備工計画図(2/5) (ネットフェンス工計画図)

平面図

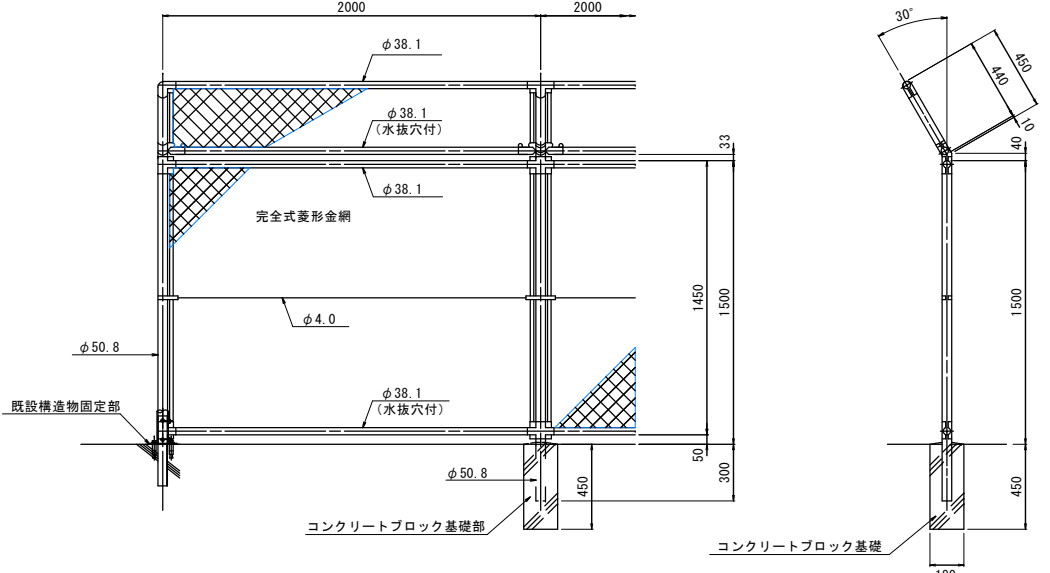
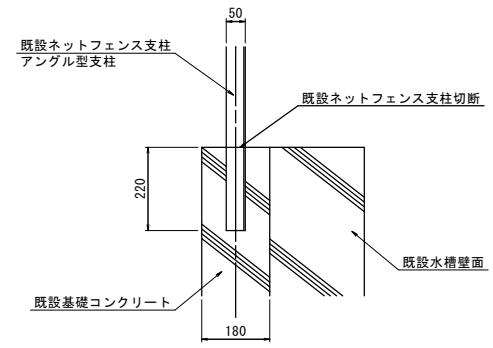


ネットフェンス復旧詳細図 S=1 : 40
フェンス H=1500(忍返付き)

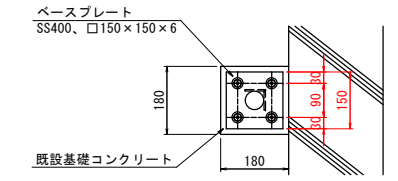
ネットフェンス復旧詳細図 S=1 : 20
(既設構造物固定部)

ネットフェンス復旧詳細図 S=1 : 20
(コンクリートブロック基礎部)

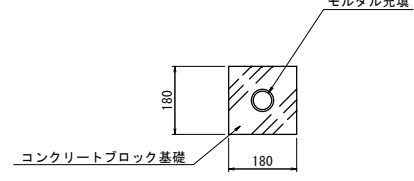
ネットフェンス基礎断面図
(既設構造物固定部撤去 : A-A断面)



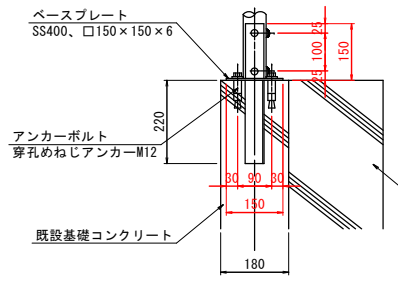
ネットフェンス基礎平面図



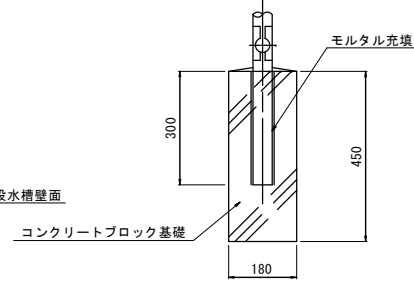
ネットフェンス基礎平面図



ネットフェンス基礎断面図



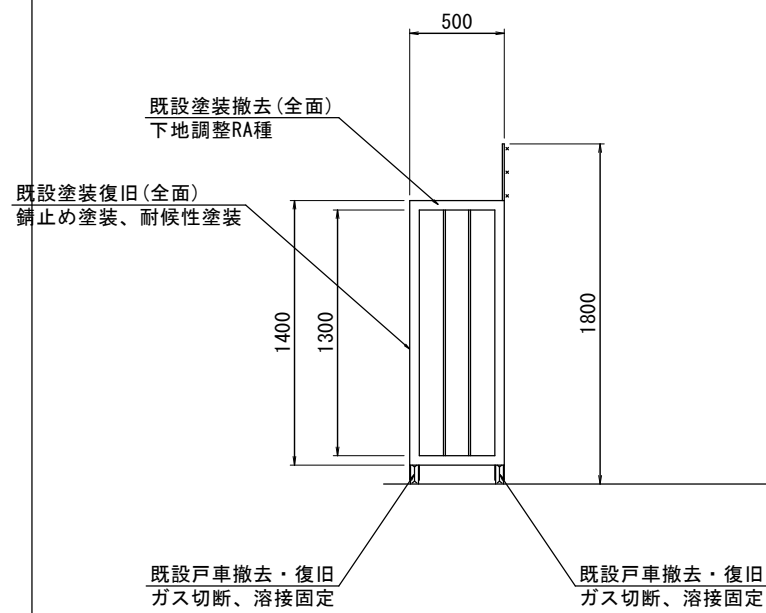
ネットフェンス基礎断面図



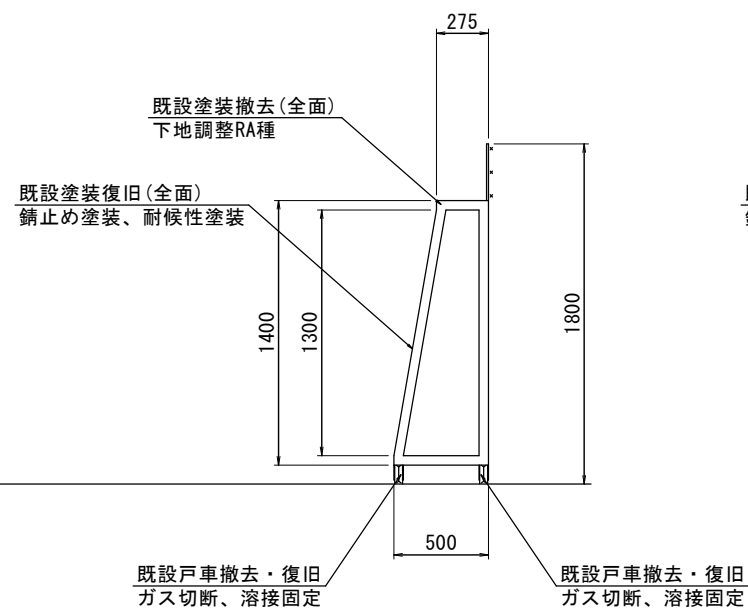
工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	ネットフェンス工計画図		
縮尺	図示	図面番号	18/22

建築設備工計画図(3/5)
(門扉工計画図)

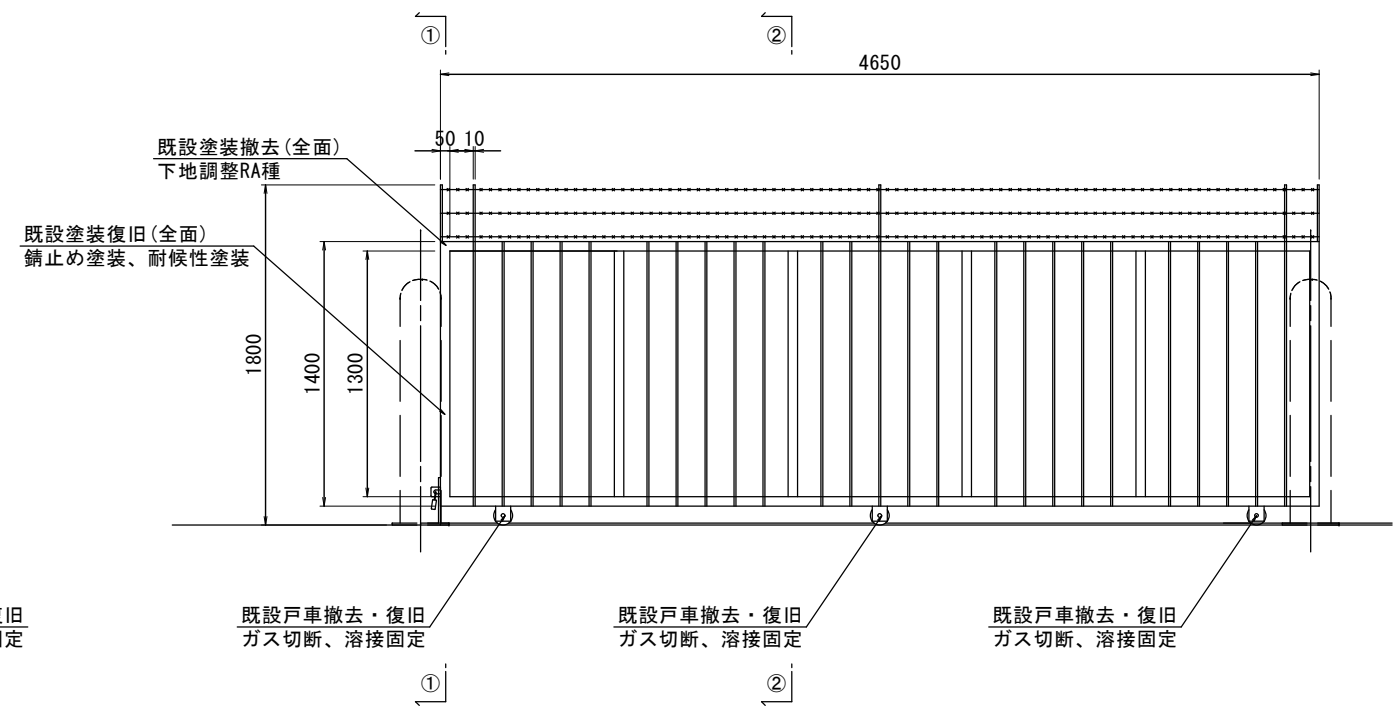
側面図
①-①断面



側面図
②-②断面

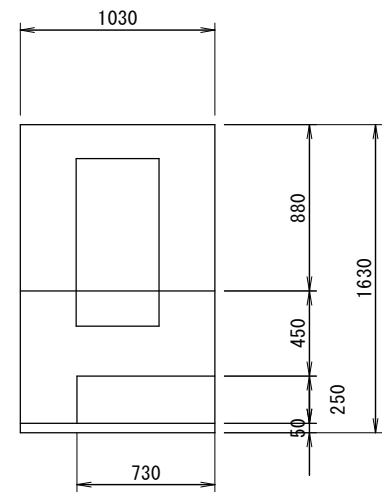
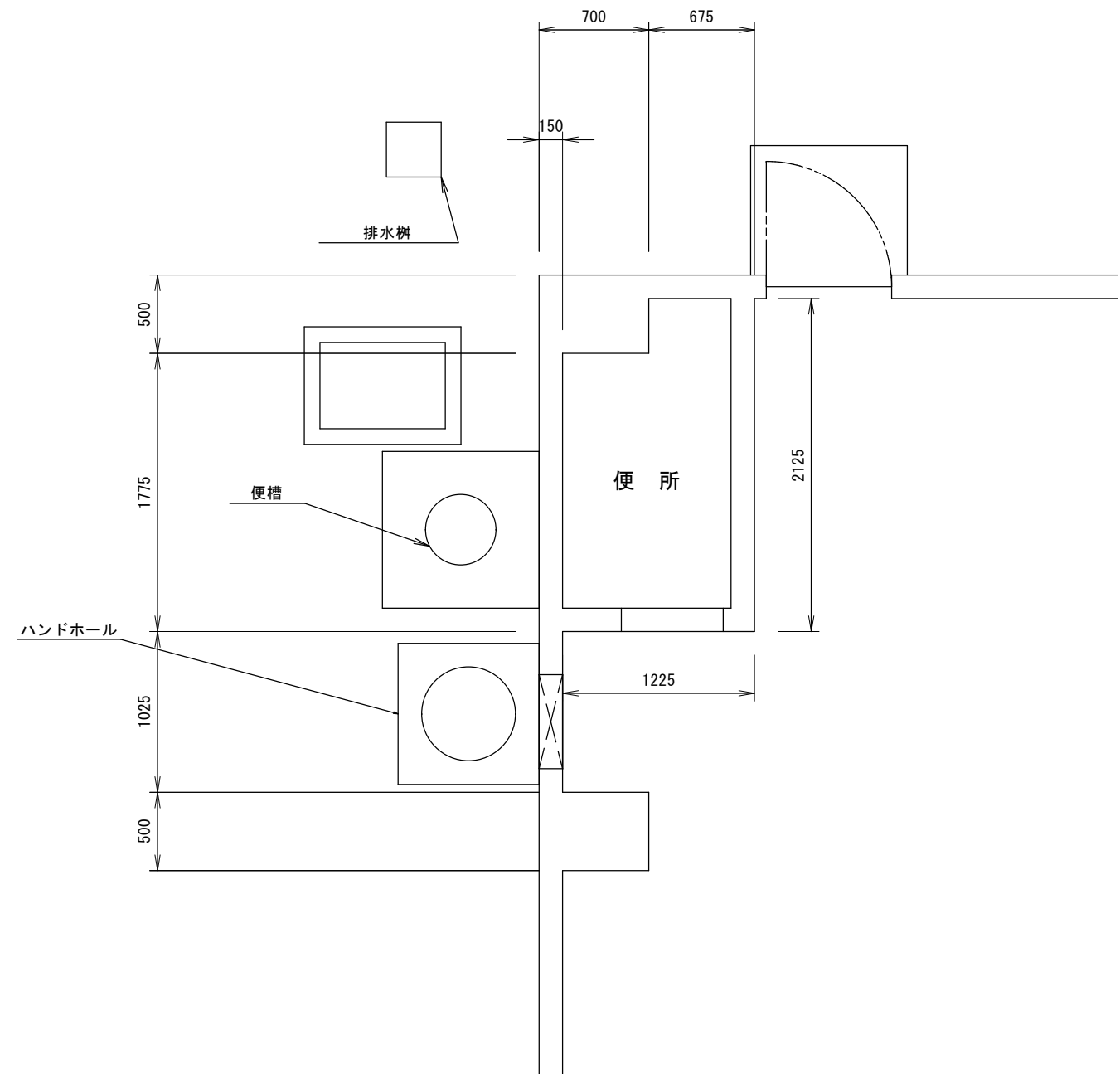


正面図

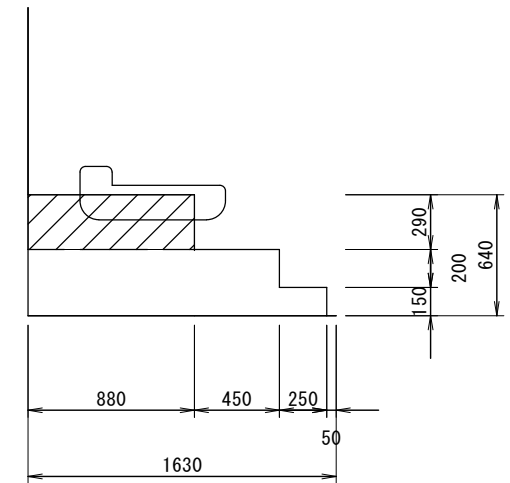


工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	門扉工計画図		
縮尺	1:40	図面番号	19/22

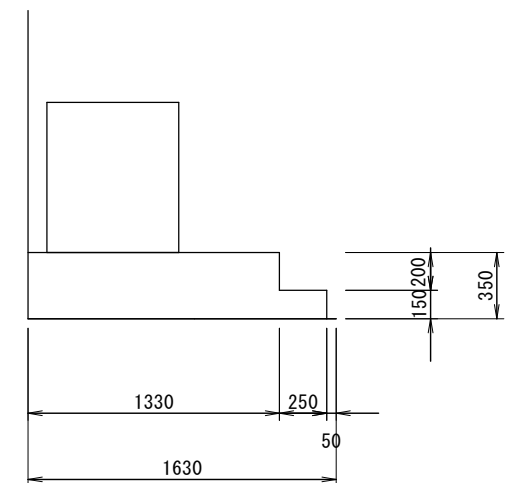
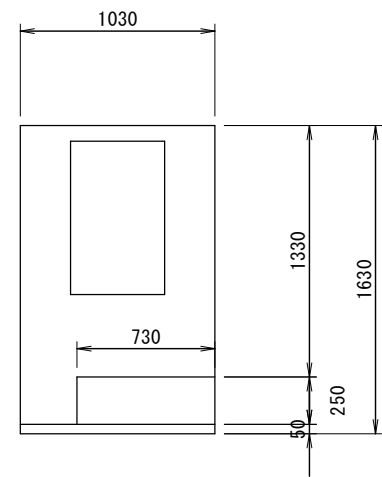
建築設備工計画図(4/5)
(トイレリフォーム図)



現況図



計画図



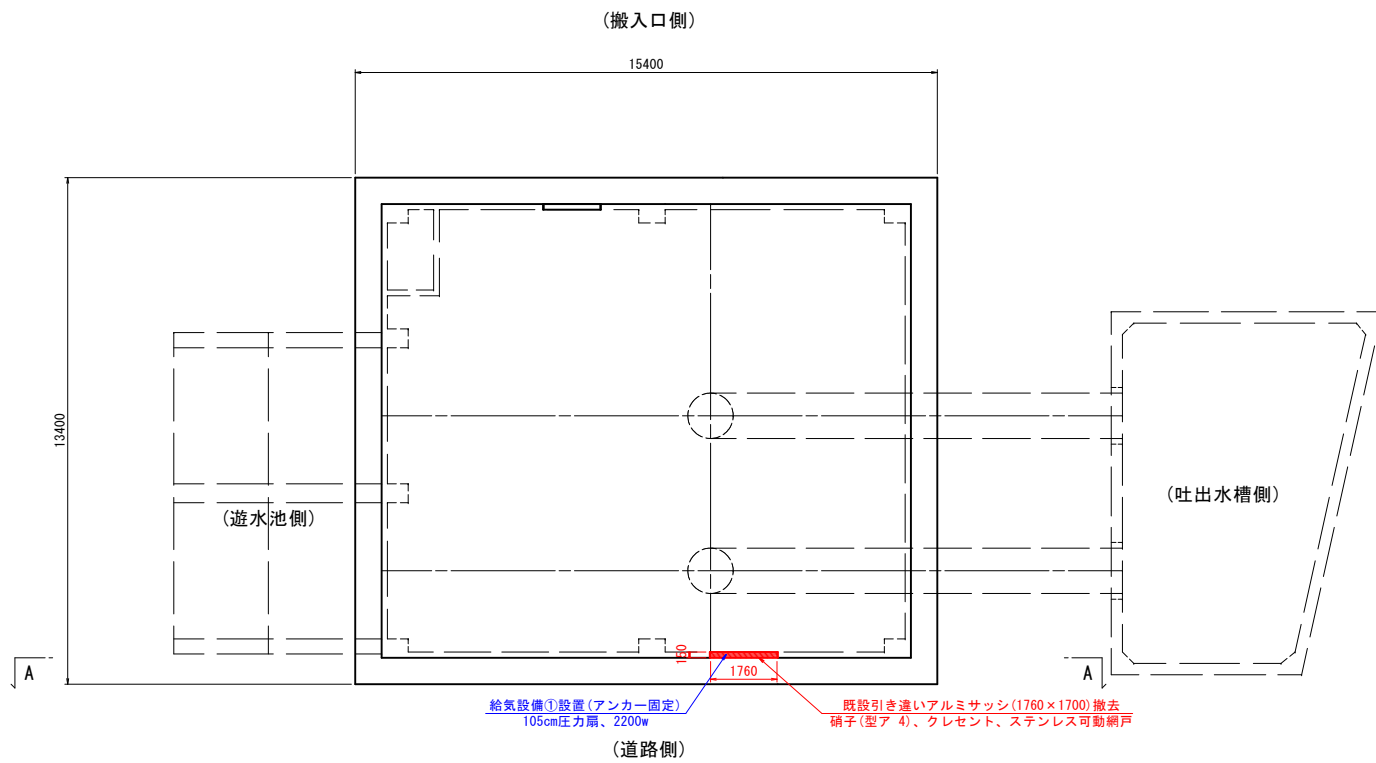
年間使用頻度が低いいため汲み取り式のまま本水洗便器を設置する。
現和式便器を取り壊し、床面を30センチ段下げする。
設置する仕様は洋式便座 縦置タンク手洗付 ウォシュレットなし

- 洋式便器据付 TOTO CS400B同等品
- タンク手洗い付き TOTO SH401BA同等品
- 便座 TC300同等品
- 紙巻器 YH600FMR同等品
- タオル掛器 YTT406同等品

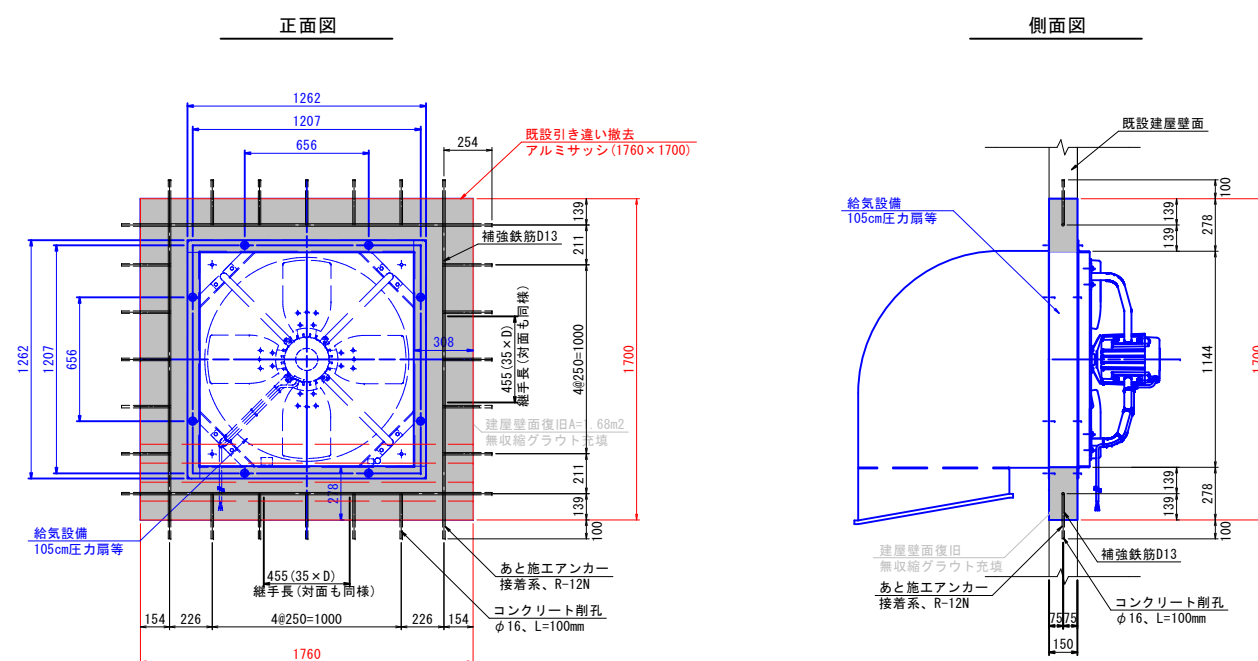
工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	トイレリフォーム図		
縮尺	1:40	図面番号	20/22

建築設備工計画図 (5/5) (給気ファン計画図)

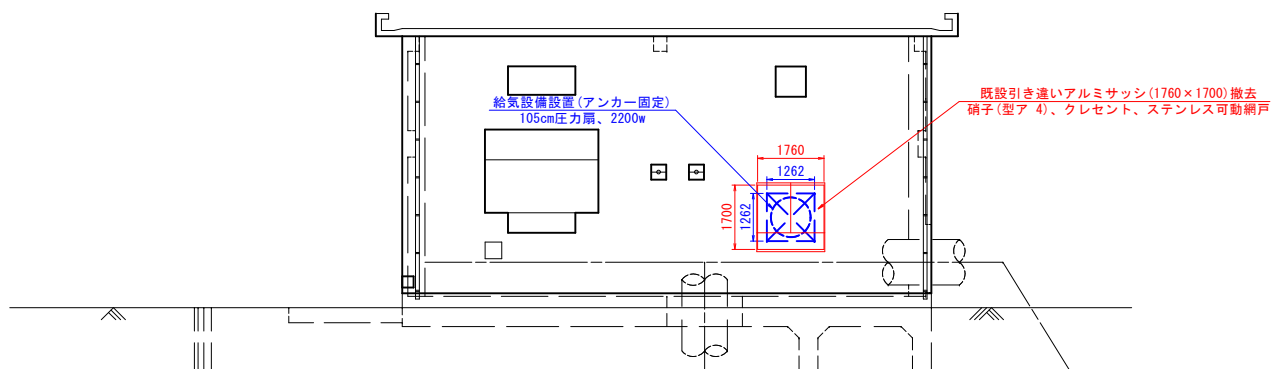
平面図
S=1:200



設置詳細図
S=1:40

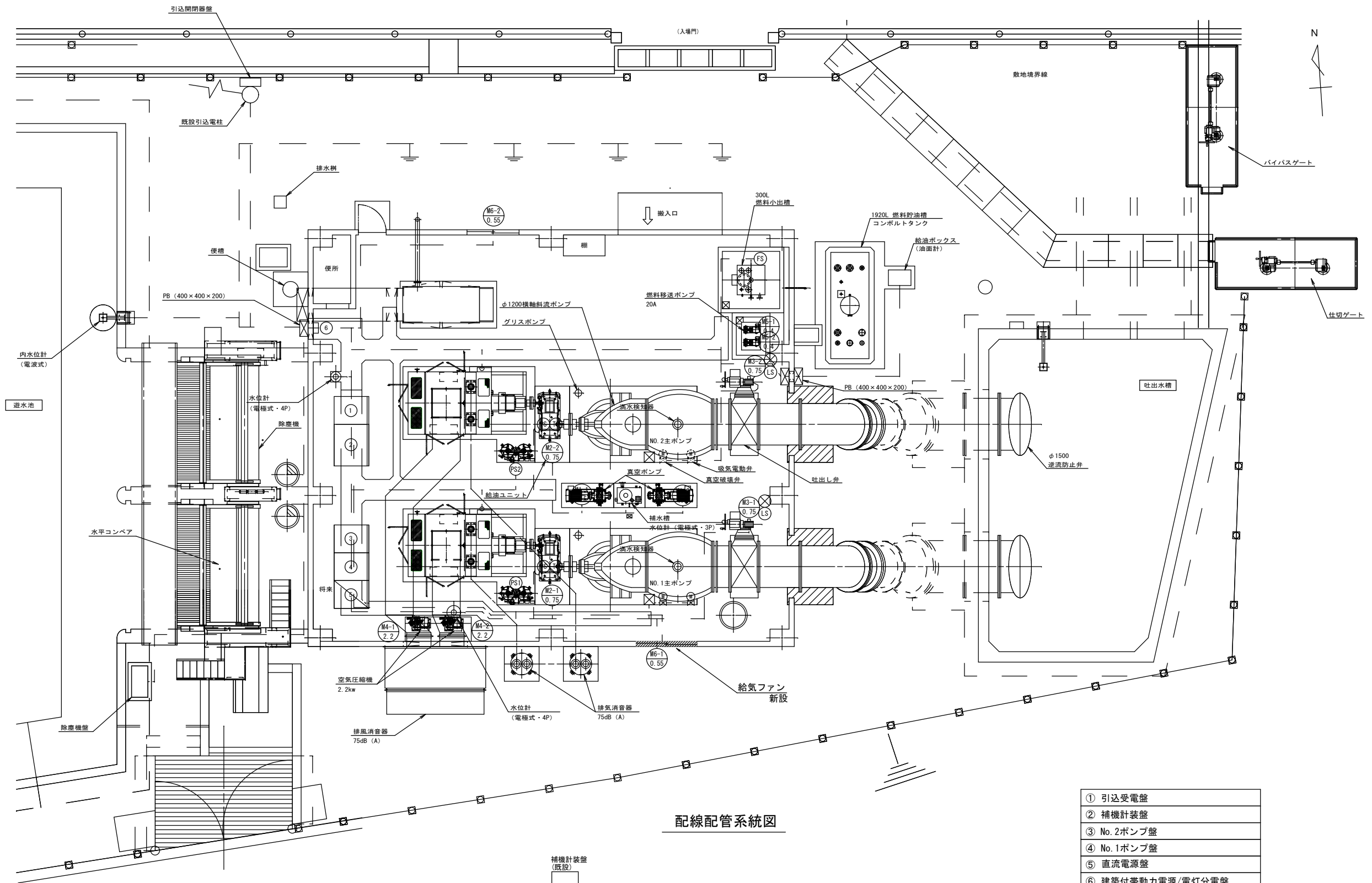


A-A断面



工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	給気ファン計画図		
縮尺	図示	図面番号	21/22

平面図



配線配管系統図

- ① 引込受電盤
- ② 補機計装盤
- ③ No. 2ポンプ盤
- ④ No. 1ポンプ盤
- ⑤ 直流電源盤
- ⑥ 建築付帯動力電源/電灯分電盤

※既設天井照明設備をLED照明(LSS1MP/RP-4-46相当)へ更新 6か所



工事名	御幸排水機場排水設備更新工事		
工事場所	福山市御幸町地内		
図面名	給気ファン/照明設備	電気設備図	
縮尺	S=1:120	図面番号	22/22

以下參考資料

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
等辺山形鋼 SS400 中形(6×65)	0.076	t			
等辺山形鋼 SS400 中形(10×100)	0.599	t			
平鋼 SS400,厚4.5mm×幅25mm×標準長5.5,6.0m 単位質量0.883kg/m	137	kg			
平鋼 SS400,厚6mm×幅25mm×標準長5.5,6.0m 単位質量1.18kg/m	86	kg			
平鋼 SS400,厚9mm×幅25mm×標準長5.5,6.0m 単位質量1.77kg/m	1,166	kg			
平鋼 SS400,厚12mm×幅50mm×標準長5.5,6.0m 単位質量4.71kg/m	1,069	kg			
平鋼 SS400,厚16mm×幅50mm×標準長5.5,6.0m 単位質量6.28kg/m	159	kg			
ステンレス鋼(熱間圧延鋼板) SUS304(No.1),9.0×1000×2000 単位質量143.0kg/枚	546	kg			
ステンレス鋼(熱間圧延鋼板) SUS304(No.1),16×2438×6100 単位質量1887.0kg/枚	110	kg			
ステンレス鋼(棒鋼) SUS304(16~24×4000~6000)	45	kg			
H形鋼 SS400 H300×150×6.5t	0.237	t			単第 0-0002号表
溝形鋼 SS400 150×75×6.5t	0.116	t			単第 0-0003号表

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
溝形鋼 SS400 200×80×7.5t	0.099	t			単第 0-0004号表
溝形鋼 SUS304 C150*75*9	69	kg			
機械構造用炭素鋼鋼材 S45C φ75	10	kg			
機械構造用炭素鋼鋼材 S45C φ100	18	kg			
機械構造用炭素鋼鋼材 S45C φ110	267	kg			
副部材費	24	%			
部品費	16	%			
制作補助材料費	9	%			
単位当り	1	台			

施工単価表

頁0 -0019

溝形鋼
SS400 200×80×7.5t

単第 0 -0004号表

1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
溝形鋼 無規格 大形(300)(380)	1	t			
溝形鋼エキストラ<規格エキストラ> 一般構造用(SS400)	1	t			
材料割増率	10	%			
鉄屑(ヘビーH1) 厚さ6mm以上,幅高500mm以下 長さ1,200mm以下,質量1,000kg以下	1	t			
材料割増率×0.7(減額率)	-7	%			
単位当り	1	t			

施工単価表

頁0 -0020

コンベア材料費

単第 0 -0005号表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
等辺山形鋼 SS400 中形(6×65)	0.132	t			
平鋼 SS400,厚6mm×幅25mm×標準長5.5,6.0m 単位質量1.18kg/m	613	kg			
平鋼 SS400,厚9mm×幅25mm×標準長5.5,6.0m 単位質量1.77kg/m	11	kg			
平鋼 SS400,厚12mm×幅50mm×標準長5.5,6.0m 単位質量4.71kg/m	13	kg			
溝形鋼 SS400 125×65×6.0t	0.426	t			単第 0-0006号表
溝形鋼 SS400 150×75×6.5t	0.056	t			単第 0-0003号表
機械構造用炭素鋼鋼材 S35C φ38	8	kg			
機械構造用炭素鋼鋼材 S35C φ55	17	kg			
圧力配管用炭素鋼鋼管 SGTP 200A	27	kg			
圧力配管用炭素鋼鋼管 SGTP 300A	51	kg			
副部材費	22	%			
部品費	16	%			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
平鋼 SS400,厚6mm×幅25mm×標準長5.5,6.0m 単位質量1.18kg/m	337	kg			
平鋼 SS400,厚12mm×幅50mm×標準長5.5,6.0m 単位質量4.71kg/m	35	kg			
等辺山形鋼 SS400 中形(6×65)	0.042	t			
H形鋼 SS400 H200×100×5.5t	0.648	t			単第 0-0008号表
溝形鋼 SS400 200×80×7.5t	0.260	t			単第 0-0004号表
溝形鋼 SS400 200×90×8.0t	0.139	t			単第 0-0009号表
(黒管ねじなし)SGP 呼び径40A, 1 1/2B(48.6×3.5×5.5) 参考質量3.89kg/m	7	本			
(黒管ねじなし)SGP 呼び径25A, 1B(34.0×3.2×5.5) 参考質量2.43kg/m	5	本			
(黒管ねじなし)SGP 呼び径32A, 1 1/4B(42.7×3.5×5.5) 参考質量3.38kg/m	8	本			
ショートエルボ SGP 90° 25A	6	個			
ショートエルボ SGP 90° 32A	18	個			
ショートエルボ SGP 90° 40A	24	個			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ショートエルボ SGP 180° 32A	2	個			
ステンレス六角ボルト SUS304, M12×40	38	本			
ステンレス六角ボルト SUS304, M12×45	28	本			
寸切ボルト SUS304, M16×270	24	本			
ステンレス六角ナット SUS304, M12	66	個			
ステンレス座金 SUS304, M12	66	枚			
ステンレス六角ナット SUS304, M16	24	個			
ステンレス座金 SUS304, M16	24	枚			
樹脂カプセル HP-16	24	個			
制作補助材料費	13	%			
単位当り	1	式			

施工単価表

型枠 SPK25040159 単第 0 -0052号表 頁0 -0069
 一般型枠 小型構造物 1 m2 当り
 機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 9,147.6000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

直接仮設 外壁改修 単第 0 -0053号表 頁0 -0070
 1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)	120	m2			
整理清掃後片付け(外壁改修)	120	m2			
くさび緊結式足場(手摺先行方式) 掛払い手間、運搬費、維持管理費共 10m未満 60日	470	m2			
くさび緊結式足場 庇部 ブラケット 掛払い手間、運搬費、維持管理費共	60	m			
安全手摺 くさび緊結式足場用 掛払い手間、運搬費、維持管理費共	60	m			
養生シート張り 防炎I類 掛払い手間、運搬費、維持管理費共	470	m2			
出入口安全対策 コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	3	か所			
単位当り	1	式			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
たてどい撤去 VP管 集積共 金具共	28	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー) 径75 SUS金具共	28	m			
エルボ 径75 80° エルボ	10	箇所			
フードカバー取替 材工共 撤去共	4	箇所			
単位当り	1	式			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ネットフェンス(亜鉛メッキ) A-IV支柱間隔2.0mZ-GS63.2*56mm	110.1	m			
普通作業員	7.4	人			
土木一般世話役	2	人			
ネットフェンス用アンカーブロック 180×180×450	20	個			
ベースプレート SS400 150×150×6t	41	個			
あと施行アンカー M12 本体打込式	164	本			
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上 200mm未満	164	孔			
雑材料	1	%			
単位当り	1	式			

除塵設備 コンサル拾い上げ数量を、土地改良歩掛（施設機械）P135～P136で仕分け

機器構成	分類	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
		SS400 4.5t	SS400 6t	SS400 9t	SS400 12t	SS400 16t	H300*150*6.5	C150*75*6.5	C200*90*8	L65*65*6	L100*100*10	SUS304 9t	SUS304 16t	C150*75*9	SUS304 φ18	S45C φ75	S45C φ100	S45C φ110
ガイド側板（上）	主要部材			94.5	526.6						254.2		49.676					
ガイド側板（下）	主要部材			69.5	542	13.3					344.3		59.9					
ガイド側板蓋	主要部材	67.1																
整流板	主要部材		84.4															
スクリーン	主要部材	69.7	1.5	3.4			236.8		98.7			430.4				38.4		
補助スクリーン	主要部材											115.6		69.4	6.5			
駆動軸	主要部材															9.8	18.3	266.5
レーキ	主要部材					145.7		115.5										
固定エプロン	主要部材			772.8						75.5								
可動エプロン	主要部材			225.5														
テークアップユニット	副部材																	
テークアップフレーム	副部材																	
テークアップ装置	副部材																	
給脂配管	副部材																	
減速機カバー	副部材																	
定位置停止装置	部品費																	
リミットスイッチ	部品費																	
ボルト・ナット等	部品費																	
減速機	機器単体費																	
レーキチェーン	機器単体費																	
スプロケット	機器単体費																	
テークアップユニット	機器単体費																	
自動調心ころ軸受	機器単体費																	

主要部材合計	SS400 4.5t	SS400 6t	SS400 9t	SS400 12t	SS400 16t	H300*150*6.5	C150*75*6.5	C200*90*8	L65*65*6	L100*100*10	SUS304 9t	SUS304 16t	C150*75*9	SUS304 φ18	S45C φ75	S45C φ100	S45C φ110
kg整数単位止め	136.8	85.9	1165.7	1068.6	159	236.8	115.5	98.7	75.5	598.5	546	109.576	69.4	44.9	9.8	18.3	266.5
	137	86	1166	1069	159	237	116	99	76	599	546	110	69	45	10	18	267

kg kg kg kg kg kg kg kg kg kg kg kg kg kg kg kg kg kg kg

コード コード コード コード コード 物価本 物価本 物価本 コード コード コード コード 物価本 コード 物価本 物価本 物価本 物価本

※制作労務の混合比率用

SS合計	3741
SUS合計	769.876
その他合計	294.6
	4805.476

コンベア コンサル拾い上げ数量を、土地改良歩掛（施設機械）P135～P136で仕分け

機器構成	分類	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	m 継目無鋼管	m 継目無鋼管
		SS400 6t	SS400 9t	SS400 12t	L65*65*6	C125*65*6	C150*75*6.5	S35N φ38	S35N φ55	STPG 200A	STPG 300A
コンベアフレーム	主要部材					239.8	55.5				
コンベア支柱	主要部材		11.3			186					
スカート	主要部材	609.7			132.4						
テールプーリ	主要部材			12.8					17		50.9
スナッププーリ	主要部材	2.9						7.9		27.4	
ヘッドスクレーバ	副部材										
ベルトクリーナ	副部材										
テークアップ	副部材										
プーリカバー	副部材										
非常停止装置	部品費										
ワイヤ式非常停止装置	部品費										
ピロー型ユニット	部品費										
サイクロモータプーリ	機器単体費										
キャリヤローラ	機器単体費										
自動調芯キャリヤローラ	機器単体費										
リターンローラ	機器単体費										
リターンローラ（キーププレート付）	機器単体費										
自動調芯リターンローラ	機器単体費										
ゴムベルト	機器単体費										
ヘッドスクレーバ	機器単体費										
テークアップユニット	機器単体費										
スカートゴム	機器単体費										

見積り対象

	合計	SS400 6t	SS400 9t	SS400 12t	L65*65*6	C125*65*6	C150*75*6.5	S35N φ38	S35N φ55	STPG 200A	STPG 300A
主部材費		612.6	11.3	12.8	132.4	425.8	55.5	7.9	17	27.4	50.9
kg整数単位止め		613	11	13	132	426	56	8	17	27	51
		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg

コード コード コード コード 物価本 物価本 物価本 物価本 物価本 物価本

※制作労務の混合比率用

SS合計	1250.4
SUS合計	
その他合計	103.2
	1353.6

鋼製付属設備

機器構成	分類	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
		SS400 6t	SS400 9t	SS400 12t	H125*125*6.5	L50*50*6	L65*65*6	I 200*100*7
吊上装置架台	直接部材費	45	37.5	15.8	599.1	2.5	80.6	66.6
kg整数単位止め		45	38	16	599	3	81	67
チェンブロック	機器単体費	見積り対象						
し渣コンテナ	機器単体費	見積り対象						

コード コード コード 物価本 コード コード 物価本

※制作労務の混合比率用

SS合計	847.1
SUS合計	
その他合計	
	847.1